

スポーツ **おおいた**

Oita Journal of Sports Science

第3号

2018.12



一般社団法人 大分県スポーツ学会

目 次

巻頭言	森 照明	1
総 説		
スポーツと歯科	保科 早苗	2
原 著		
サプリメント製造会社に対するドーピング関連調査	河村 聡志	7
第8回フォーラム		
プログラム		12
パネルディスカッション「社会の中のスポーツ～スポーツに対する期待, そして不満」		
パネルディスカッションを終えて	谷口 勇一	13
基調講演 社会学者からみたスポーツーその可能性と課題ー	大杉 至	14
登壇者		
政治・行政の立場から～スポーツ行政に思うこと	森 誠一	16
元アスリートの立場から～大分のスポーツに思うこと	高松 大樹	18
医師の立場から～スポーツ指導者に思うこと	松田 貴雄	19
食育スポーツキャラバン隊の活動を通してスポーツキッズの保護者に思うこと	平川 史子	21
スポーツ救護講習会・メディカルマネージャー養成講習会		
認定スポーツ救護 講習会 第9期		24
メディカルマネージャー認定講習会		25
第10回学術大会		
ごあいさつ	稲垣 敦・高森 聖人	28
座長・発表者へのご案内		30
プログラム		31
基調講演 大分県におけるスポーツ振興の取り組みについて	野中 公二・森崎 宣和	34
シンポジウム 大分県民のスポーツの現状と課題		
高体連の役割・取組・課題等について	蓑田 智通	39
「大分県民のスポーツの現状と課題」について	丸山 順道	40
「大分県民のスポーツの現状と課題」について	堀川 裕二	41
「大分県民のスポーツの現状と課題」について	森 誠一	42
一般演題発表 セッションⅠ		43
セッションⅡ		46
ポスター発表		49
名義後援		55
広告		56
会員へのお知らせ		
「スポーツおいた」投稿規定		62
一般社団法人大分県スポーツ学会 定款		63

巻 頭 言



学会認定スポーツ救護ナース・救護員 養成・派遣システムと スポーツダイバーシティの提言

一般社団法人 大分県スポーツ学会 前理事長・顧問
森 照明 (社会医療法人敬和会 統括院長)

平成22年3月に大分県スポーツ学会を創立し7年目を迎える。平成24年4月に学会認定スポーツ救護ナース・スポーツ救護員を養成し、スポーツ現場に派遣する事業を開始し、平成29年第8期生まで救護ナース540名と救護員191名の計731名を認定した。養成の目的は「スポーツ全般の知識を修得し、スポーツにおける救護の専門家として適切な判断処置が出来る実践を身に付けた人材を育成する」事である。

現在、2日間15時間の講習で実践的な熱中症の対処法、ストレッチやテーピング法、RICE、脳振盪診断法の実習、日赤救命救急4時間の基礎講習等々のプログラムは大変好評で県外からも多くの受講申し込みがある。

派遣要請内容はメルマガに登録した認定者に公表し募集派遣している。平成25年4月から平成30年3月まで約40団体に1171回、延人数1534名を派遣した。行政の中体連や高体連からの依頼が多く感謝されている。

年1回スキルアップ研修会では困難例の事例検討もしており、4年毎の認定更新にはポイント制を導入している。

我々のこの日本初の養成・派遣システムは2年後の東京オリンピック・パラリンピックや1年後のラグビーワールドカップを控え、需要は益々増えると考えている。本システムはスポーツ界と国民の健康に貢献することはもちろん、看護師の夢と展望のある新しい業務、分野でもあり、普及発展に努めたい。

現在、私は日本が近未来に超高齢社会を迎えるにあたり、スポーツ界にも多様性を受容する「スポーツダイバーシティ」の言葉と概念を導入したいと考え準備中です。後日改めて詳細をご報告します。

今後とも本学会に皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



スポーツと歯科

保科 早苗

独立行政法人国立病院機構 西別府病院 スポーツ医学センター スポーツ歯科

【要旨】

1892年ボクシング選手のマウスガード作製に端を発したスポーツ歯科は、時を経て1980年代にはそのスポーツパフォーマンスへのかかわりが研究されるようになっていきました。わが国では、1990年にスポーツ歯学研究会（現在の日本スポーツ歯科医学会の前身）が発足され、設立から30年近くの年月を経て、今や日本から発信される研究は世界トップレベルとされています。これまでの知見として、『頭部の固定には臼歯咬合の安定がかかせず、これらは重心動揺を固定する。』また、『噛みしめは関節の固定に寄与し、筋力の発揮に有効に作用することがある。』等がわかってきています。現在、国立スポーツ科学センターでは、日本代表選手に対する試合前のメディカルチェックに、内科、整形外科とともに歯科検診が行われています。また、国は、国民にとって「口腔の健康が、健康で質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要である」として、2011年に『歯科口腔保健法（歯科口腔保健の推進に関する法律）』を公布し健康政策の柱のひとつとしています。今後ますます、スポーツ歯科が、スポーツ外傷の予防とともにパフォーマンスアップの一助、そして一生の健康につながるコンディショニングとして浸透していくことが期待されます。

【キーワード】

スポーツ歯科、噛み合わせとスポーツパフォーマンス、マウスガード

1. はじめに

今回スポーツと歯科のかかわりを紹介するに当たり、まず最初に、2017年4月日本歯科学会誌座談会・特別企画号に掲げられた『アスリートの最大能力発揮支援に歯科界が動く！』巻頭の住友雅人先生（日本歯科医学会会長）の言葉をお示ししたいと思います。

「咀嚼の改善は食べる楽しさと喜びを増加する。食事は体力を維持する重要な要素であるのはもちろんだが、体重制限がある競技においては食事量を減らしても、良く咬むことによって吸収効果をあげられる。楽しく食べる事は精神面へのプラス効果となる。また競技中の疼痛を伴う歯科疾患の発現は集中力を欠く因子になり得るから、事前の歯科治療は必須である。マウスガードの着用によって事故を防止できるとなれば気持ちの上での安心感は大い。選手達の歯科的な不安が解消されれば、精神的にも肉体的にも、より集中して競技に臨むことができる。咬合機能の改善・指導が重心動揺の現象や筋肉の有効活用に貢献することは、さまざまな研究からも証明されている。さらに、健

康的な美しい口元はファン獲得の上でのマイナスになることはないであろう。ファンの声援はアスリートの能力を一層発揮させるパワーとなるにちがいない。このように歯科界には、さまざまなスポーツにおいて歯科的支援・介入をすることで安全と安心を増し、アスリートはもちろんのこと、スポーツをエンjoyするすべての人々に貢献する力がある。」¹⁾

さてこの企画は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて日本歯科医学会が総力をあげて編集し、これからの歯科界の方向性を示唆するものであります。

2. スポーツ歯科医学のはじまり、そしてオリンピックへ

ここで、スポーツ歯科の歴史を振り返ってみましょう。歯科がスポーツにかかわったのは、ボクシングのマウスガードからと言われています。世界最古のマウスガードは、イギリスロンドンの開業歯科医が1892（明治25）年に、口のケガ、頸や脳の障害が多かったプロボクサーに頼まれ、ゴムでマウスピースとして作ったのが始まりと言われています。その後、

アメリカでマウスガードがボクシングの定番アイテムとなり、ルールでも義務化され、さらにボクシング以外のコンタクトスポーツでもマウスガードが使用されるようになっていきました。

²⁾ 同時に、1980年代にアメリカを中心に、かみ合わせと競技力に関する論文が出てきて研究が進められていきました。³⁾

日本では、1925 (大正14) 年に、歯科医師大久保真一が作ったマウスガードが、記録に残る一番古いマウスガードになります。⁴⁾ その後、1980年代、スポーツを愛好する歯科医師たちが、マウスガードそしてアメリカから発信されるスポーツとかみ合わせの研究に興味を示し、研究活動が始まりました。1990年には『スポーツ歯学研究会』が設立され、1999年、現在の『日本スポーツ歯科医学会』へと名称変更がされ、現在は会員数1,360名 (2016年7月現在)⁵⁾ で、盛んな学会活動が行われています。研究会設立から30年近くの年月を経て、日本のスポーツ歯科医学は、かみ合わせと筋力や重心動揺について多くの研究がなされてきて、今やその業績は世界の中でもトップレベルとされています。⁶⁾

さて次に、オリンピックと歯科の関わりについてみてみたいと思います。

国際オリンピック委員会 (IOC) に医事委員会が設置されたのが1967年ですが、その下部組織として正式に歯科が設置されたのは2000年ということです。²⁾

一方、オリンピック選手村に医療施設 (ポリクリニック) が設置されるようになったのは、1932年のロサンゼルス大会からですが、すでに1964年の東京オリンピックでは、医療サービスのスタッフとしてわが国の歯科医師3名歯科衛生士3名が、歯科医療を世界各国の選手に提供しています。一方この大会で、世界から約120名のチームドクターが参加していますが、歯科医師はイギリスとドイツのたった2名でした。2004年アテネ大会、2008年北京大会における歯科サービスは、約1ヶ月間毎日15時間2-3交代で行ってトータル700-1,000名の希望者に対応した実績が報告されています。きたる2020年東京オリンピック・パラリンピックでも、相応の規模の歯科医療サービスとマウスガード提供できるよう準備が進められています。¹⁾

さて、今や各国でトップアスリートに対するデンタルサ

ポートが行われていますが、日本においては、日本代表候補選手に対する医療拠点として2001年より国立スポーツ医学センター (JISS) が設立されました。そして、フィットネスチェックとともにメディカルチェックが実施されています。国際大会に参加する選手達は、1987年から内科、整形外科とともに歯科もメディカルチェックが検診項目として義務付けられています。また、JISSに併設された診療所には、内科、整形外科、歯科、皮膚科、婦人科の診療科、そして心理カウンセリング、栄養サポート、リハビリなどがあり、選手たちはトータルな医科学サポートを受けています。⁷⁾

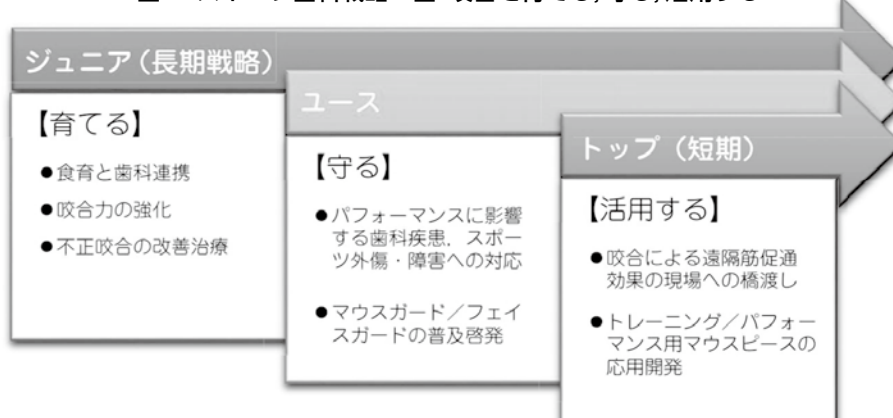
また、東京オリンピック・パラリンピックを2年後に控え歯科では、図1のような戦略¹⁾ で、育成を考えています。すなわち咬合 (咬み合わせ) が確立していないジュニア期は『食育を通して顎の成長を促し、30回咀嚼 (食事の時1口30回噛む)⁸⁾ やガムなどを使って顎の成長を促すこと⁹⁾、不正咬合がある選手は積極的に歯科矯正を受けさせて改善していく』、競技が本格化してゆくユース期は『ジュニア期で獲得した歯並びやかみ合わせをマウスガードを使用してけがから守る、また、パフォーマンスの妨げになるような歯科疾患や障害に迅速に対応する。』、そして、トップアスリートになったら、『スポーツ歯科学のこれまでの研究成果をもとに、マウスガードのプラスアルファの効果を活用していく』という戦略です。2005年からトップレベルの選手の歯科矯正治療も積極的に始めています。¹⁾

3. 咬合 (かみしめ)、咀嚼 (かむこと) とスポーツ

競技スポーツのパフォーマンスと歯科関係ですが、日本スポーツ歯科医学会はこれまでの研究成果として以下の6項目を挙げています。¹⁾

- ①身体機能を維持する食事と咀嚼機能 (かむこと) の維持
- 「食べる」ことは最大のコンディショニング
- ②姿勢反射と頭部保持
- 頭部の固定は重心動揺を抑制し静止状態を良好にする。
- ③重心動揺と咬合 (かみしめ) 維持とバランス
- 頭部固定のためには臼歯咬合の安定がかかせない。

図1. スポーツ歯科戦略～歯・咬合を育てる, 守る, 活用する



[日歯医学会誌 (2016):35, 7-32]

④咬合（かみしめ）と筋力

－噛みしめは筋力発揮に有効に作用することがある。

⑤咬合（かみしめ）と関節固定

－噛みしめは関節の固定に寄与する。

⑥その他

－口腔の急性炎症、顎関節の急性炎症は確実にパフォーマンスを減弱する。

さてここで、2つの研究データをお示ししましょう。

まず図2は、噛みしめのバランスへの影響を見たものです。立位姿勢において電気刺激を下肢に与えて姿勢を乱そうとした時に、噛みしめているとどれだけ踏ん張れるかを実験した結果ですが、前後方向の大きな重心動揺を優位に抑える事が可能でした。^{10) 1)}

次に図3ですが、これは重量挙げの体幹の筋力発揮時の咀嚼筋の活動量をみたものです。ジャックでのキャッチ姿勢の時、口腔周囲筋（左右側頭筋、咬筋、顎二腹筋の活動量）では、側頭筋・咬筋といった噛みこむ筋肉はあまり働かず、首の筋肉で下顎骨の引き下げや舌骨（舌を支える骨）の引き上げの役割を担う顎二腹筋が100%の活動するというデータを示したものです。^{11) 1)} 重量挙げの選手にバーベルを上げる時、息をこらえるような様子が観察されたり、投てき

やテニス選手がボールを打つ時、大きな声を上げたり、武道の選手が打ち込みの時気合を上げたりというシーンが多くみられます。この研究データは、これまでの選手のくいしばるという感覚は、体幹の筋力発揮時に下顎をどこかに強く固定しようとする感覚が働く可能性を示唆しています。

さらに上記②～⑤に示されているように、スポーツにおいて筋力を発揮する場合、単にくいしばると大きな力が出るだけでなく、かえって関節を固定して動きが止まってしまうことも示しています。

そして、さらに注意しなければならないのは、スポーツパフォーマンスは、様々な要因が複雑に絡み合って結果として現れるということです。例えば、口の中に装置を入れれば、競技の成績がアップするというような結果直結するような明確な研究成果がスポーツ歯科にあるわけではありません。

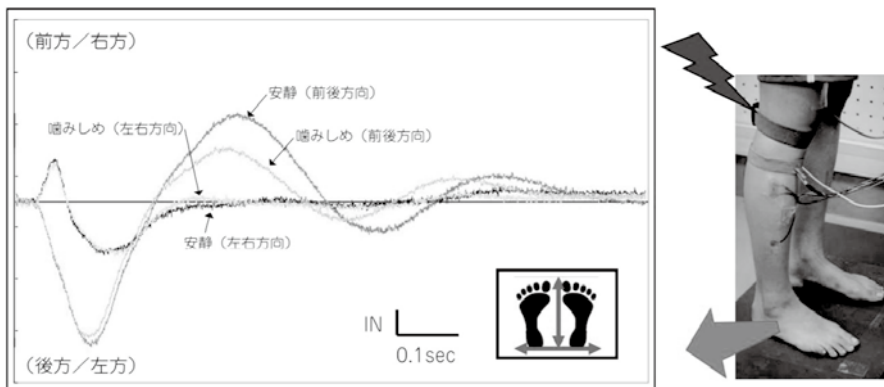
さて、競技スポーツの他にも、スポーツには学校体育、国民の生涯スポーツがあります。

学校体育の視点からいうと、歯が良くてかむ力が強い子は運動能力が高いなどの疫学データ（表1）^{12) 1)} があります。また、学校体育では、歯の外傷頻度が高いことも忘れてはなりません。¹³⁾

生涯スポーツでは、臼歯の噛み合わせが良い高齢者は、

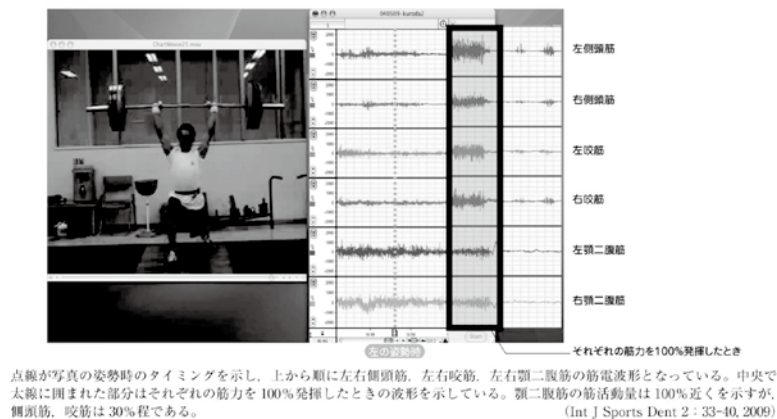
図2. 姿勢外かく乱時のバランス効果

床反力計（force plate）上に開眼直立させ、片側下肢に最大上電気刺激を与えて姿勢外乱する。



[日歯医学会誌:35,7-32]

図3. 重量挙げジャックでの咀嚼筋波形



[日歯医学会誌(2017):36, 9-36]

身体機能が高い（表2）、歯の本数の多い高齢者の活動性も高い¹⁴⁾、医療費が低い¹⁵⁾ など、疫学データが次々報告されています。

4. 今後のスポーツ歯科

このような時代の潮流の中、2013年歯科口腔保健法（歯科口腔保健の推進に関する法律）¹⁶⁾ が公布されました。この法律では、歯と口の健康は、人間の生活の質を維持する源、生きる力を支える基盤となるとして、歯科医療は、すべての年代、そして病と闘う方々、障がいのある人々にとって当然の権利として充足されるべきものとしています。行政そして医療従事者や関係者はそのための環境を整える必要があり、また老若男女問わずすべての人々が検診や治療を受けることを推奨しています。いみじくもこの年2013年は、スポーツ基本法も公布された年でもあります。歯そして口腔の健康増進は、スポーツ振興その他の政策とともに、全身の健康寿命の延伸の切り札として注目され、膨れ上がる医療費に歯止めをかけるための政策のひとつとして国は重点を置いています。

さて最後は、スポーツ歯科の象徴ともいえるマウスガードの動向について、少し触れてみたいと思います。

今年の夏の全国高校野球選手権は、記念すべき第100回を迎え、熱戦が続きました。その中でも特に注目を浴びたのが、準優勝の金足農学校（秋田）のエース吉田輝星選手（3年）ではないでしょうか。そして、彼の真っ白な口元も話題になりました。¹⁷⁾ 吉田投手は、投球中くいしばった時に歯が欠けてしまったという経験があり、高2の時からマウスガードを愛用しているそうです。

野球は、競技人口も多く口腔外傷も多いスポーツですが、高野連では、歯の外傷防止のため、マウスガードの使用（透明または白）を認めています。また、高校野球に出場しているすべての高校に、万が一歯が脱臼した時のための歯の保存液が配布されていて、口腔外傷対策がとられています。¹⁸⁾

一方、2006年の高校野球決勝で投げ合った田中投手（現ヤンキース）と斎藤投手（現日本ハムファイターズ）ですが、…その年の日米親善高校野球に代表選手として選拔され、試合前にマウスガードを作ったそうです。田中投手は「これはいいですね。」と気に入って使用したそうですが、斎藤投手は違和感が強く装着するとかえって制球が乱れてしまったということが話題となりました。¹⁷⁾ TV放映される、プロ野球選手の口元にもマウスガードが散見され、スポーツ新聞などにも取り上げられています。

表1. 中学生の咬合状態と健康観および運動能力の関連性について

噛む力 (デンタルプレスケール)	弱い Under-1SD	強い Under+1SD
握力(kg)	33. 7	36. 3
体前屈(cm)	42. 3	43. 6
反復横とび(回)	52. 6	53. 1
長距離(秒)	381. 4	372. 4
50m走(秒) *	8. 1	7. 6
立ち幅跳び(cm) *	211. 1	223. 6
ボール投げ(m)	22. 4	23. 5
上体起こし(cm)	28. 3	28. 7

[明海歯学(2007):36 (1) 37-41]

表2. アイヒナーインデックスと身体活動性・血液生化学値の関連性

Class	n	握力 (kg)	平衡機能 (sec)	アルブミン (g/dl)	総コレステロール (mg/dl)
1	16	25.1±5.1	26.7±5.7	4.20±0.27	205.8±27.7
2	29	20.4±9.2	20.6±4.0	4.15±0.33	199.6±37.2
3	17	21.0±5.8	15.5±4.8	4.16±0.20	211.3±39.7
4	12	19.9±7.4	10.4±5.0	4.13±0.20	229.3±46.4

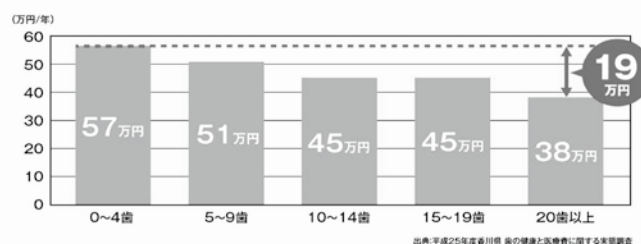
[老年歯学(1997)Vol.11.3]

*: p > 0.05, **: p > 0.01

Class 1: 臼歯部に3個所以上の支持域で咬合関係が存在。 Class 2: 咬合関係の存在する支持域が2個所以下。
Class 3: 上下顎のどちらか一方にのみ歯が存在し、咬合関係なし。 Class 4: 無歯顎。

図4. 残存歯別年間医科医療費(平成25年度香川県)

**歯の本数が0~4本の人は、20本以上ある人に比べ、
年間医科医療費が19万円高いという結果に。**



**歯の本数が少ない人は、糖尿病・高血圧において
医科医療費が高くなる傾向がみられました。**

〔日本歯科医師連盟リーフレットより〕

日本の国民的人気のスポーツ野球界で、当たり前のよう
にマウスガードが使用されてきており、またパフォーマンス
アップにも関心が寄せられ使用されてきている現状は、
今後もさらにあらゆる競技種目での使用が進み、またコン
ディショニングのひとつとしてスポーツ歯科が浸透してい
くことを期待されます。

5. 参考文献

- 1) 日本歯科医学会. アスリートの最大能力発揮支援に歯
科界が動く！ 座談会・特別企画号 (2017)
(35: pp7-32, 2016、36: PP9-36, 2017)
日歯医学会雑誌: pp1-56
- 2) 大山喬 (2007) スポーツ歯科臨床マニュアル
(日本スポーツ医学会編) 医学情報社、東京、PP 1-6 3.
- 3) 安井利一、松本勝 (2015) 要説スポーツ歯科医学
(石上恵一、上野俊明、川良美佐雄、前田芳信、
安井利一編) 医学情報社、東京 pp1-4
- 4) 大久保信一 (1960) マウス ピースの歯科学的研究
(第1報 形態, 材料, 調整法について) 歯科学報、
60 pp325-328
- 5) 日本スポーツ歯科医学会: (2018) 学会紹介
<http://kokuhoken.net/jasd/about/>
(最終閲覧日: 2018年10月27日)
- 6) 安井利一 (2009) スポーツ歯科入門ハンドブック
(安井利一・杉山義祥 編著) 医学情報社 東京、pp1-5
- 7) 国立スポーツ科学センター (2018) スポーツ診療事業
<https://www.jpnsport.go.jp/jiss/>
(最終閲覧日: 2018年10月27日)
- 8) 厚生労働省 (2009) 歯科保健と食育の在り方に関する
検討会: 歯科保健と食育の在り方に関する報告書 (概
要)「歯・口の健康と食育～嚙ミング 30 (カミングサ
ンマル) を目指して～」
<https://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/07/dl/s0713-10a.pdf>
- 9) 姫野かつよ、竹内正敏 (2015) 歯科臨床におけるガム
徹底活用法—齲蝕予防から咬合育成、筋機能改善、口
腔リハまで, 医学情報社, 76p
- 10) Fujino S, Takahashi T, Ueno T (2010) Influence
of voluntary teeth clenching on the stabilization of
postural stance disturbed by electrical stimulation of
unilateral lower limb. Gait Posture. pp122-125
- 11) Asano T, Kawara M, Suzuki H, Komiyama O, Iida
T, Aono H, Nanba K, Okamoto H, Kuroki T (2009)
Masticatory Muscle Activities during Snatch
Weightlift. Int J Sport Dent. 21) pp33-40.
- 12) 深井智子、安井利一 (2007) 中学生の咬合状態と健
康観および運動能力の関連性について. 明海歯学361)
pp37-41
- 13) 独立行政法人日本スポーツ振興センター (2008) 学校
管理下における歯・口のけが防止必携
<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/branch/tabid/105/Default.aspx>
(最終閲覧日: 2018年11月11日)
- 14) 寺岡加代、柴田博、渡辺修一郎、熊谷修 (1997) 高齢
者の咀嚼能力と身体状況との関連性 について. 老年歯
学11 (3) pp169-73
- 15) 日本歯科医師連盟 (2018) 歯科医療が日本を救う
(リーフレット)
http://www.jdpf.jp/jdpf/wp-content/themes/jdp/images/leaflet_01.pdf
(最終閲覧日: 2018年11月12日)
- 16) 厚生労働省 (2011) 歯科口腔保健の推進に関する法律
法律95号
https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=78ab2261&dataType=0&pageNo=1
(最終閲覧日: 2018年11月11日)
- 17) Yahoo News デイリースポーツ (2018) 金足農・吉田
の白い歯で注目 高校野球にマウスピース導入の利点
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180820-00000138-dal-base>
(最終閲覧日: 2018年11月11日)
- 18) 大阪歯科大学 (2018) 全国高校野球大会と大阪歯科大
学のつながり…
https://www.osaka-dent.ac.jp/news/2018/H20181002_mouthguard.html
(最終閲覧日: 2018年11月11日)



サプリメント製造会社に対する ドーピング関連調査

○河村 聡志¹⁾、松尾 成真¹⁾、中島 美紀¹⁾、伊藤 英明¹⁾、
首藤 典利²⁾、山田 雅也¹⁾、莊司 一茂¹⁾、佐藤 英隆¹⁾、
友成 朗¹⁾、安東 哲也¹⁾

公益社団法人 大分県薬剤師会 1) 学校保健・体育委員会、2) 薬事情報室

【要旨】

2016年開催の国民体育大会（以下、国体）成年男子競輪の優勝選手が、ドーピング違反で4か月の資格停止処分となった。違反となった選手は普段より原材料成分に禁止物質の表示のない海外製サプリメントを服用中であった。違反6か月前に受けたドーピング検査では陰性であったため、異なるロット番号の製品汚染の可能性が示唆された。今回、サプリメント製造会社に対して現状調査を行った。ドーピング検査対象者の製品服用が可能と全12社中7社が回答した。製品全ロット保証ができると回答したのは全12社中7社であった。また、第三者機関認証を受けているとの回答が4社から得られた。第三者機関認証は認証制度により検査項目が異なるがアスリートの選択基準の一つとなる可能性がある。今後、サプリメントに関してはより一層の注意が必要であり、ドーピング違反リスクを減らせるような取り組みが必要と考えられる。

【キーワード】

ドーピング違反、サプリメント、JADA認定商品、汚染製品、第三者機関認証

【序文】

サプリメントは、本邦において、広く市場に流通しているが、医薬品ではなく食品として分類されることから品質管理は製造会社が担うところが多い。また、製品ラベルおよびインターネット検索などの入手可能な情報において禁止物質を含まないとされていても、実際は禁止物質を含有している“汚染製品”に注意を払う必要がある。しかし、毎年のようにサプリメント起因のドーピング違反が発生しており、ドーピングの危険がないことを保証するのは極めて難しいのが現状である。

2016年開催の国民体育大会においても成年男子競輪の優勝選手が、サプリメントによるドーピング違反で4か月の資格停止処分となった¹⁾。違反となった選手は普段より原材料成分に禁止物質表示のない製品を服用していた。違反6か月前に受けたドーピング検査では陰性であったため、異なるロット番号の“汚染製品”の可能性が示唆された。“汚染製品”

に関してサプリメント製造会社に調査を行った報告はあまり知られていない。そこで、大分県薬剤師会アンチ・ドーピング委員会（現、学校保健・体育委員会）ではサプリメント製造会社に対して製品の品質管理に関する現状調査を行った。

【材料と方法】

大分県薬剤師会のアンチ・ドーピングホットラインに問い合わせ記録があるサプリメント製造会社12社に、電話あるいは電子メールにて問い合わせを行い、下記設問について全社から回答を得た。調査期間は2017年10月25日から11月25日であった。

製品ラベルおよびインターネット検索などの入手可能な情報において禁止物質を含まないとされる製品を対象とした。日本アンチドーピング機構（以下、JADA）がドーピング禁止物質を含まないと認証した認定商品²⁾（以下、JADA認定品）は対象外とした。また、ウェブサイトにて

アスリート向け製品を販売していると判断した製造会社をスポーツサプリメント（以下、SS）製造会社とした。

（設問）

設問 1. ドーピング検査対象者が御社の製品を服用しても問題ないかお答えください。

設問 2. 製造全ロットにおいて製品にドーピング違反となる成分が混入することがないと保証ができるか。また、その理由についてもお答えください。

【結果】

表 1 に回答の詳細を記載した。設問 1 において「使用可能」と 7 社から回答を得た。そのうち「ウェブサイト上で使用可能」と掲載していたのは 4 社であった。「分からない」との回答が 5 社であった（図 1）。設問 2 においては全ロットに関し「保証できる」と回答したのは 7 社であり、「保証できない」と回答したのは 5 社であった。保証の根拠として第三者機関認証取得を得ていると 4 社が回答した（図 2）。

【考察】

ドーピング検査は選手の潔白を証明するものであるが、意図せず禁止物質を服用してしまう“うっかり”ドーピングによる違反事例が相次いでいる。2016年の国体における事例においては、服用前に禁止物質が含まれていないことを確認したうえで服用しており、選手の過失は重大ではなかったとされたが、大会記録の失効と 4 か月の活動停止処分が下された¹⁾。

汚染製品が流通する原因として、原材料の汚染、製造過程における汚染、他者による偽物販売などが挙げられる。汚染製品は特に海外製品やインターネットを介した購入の際には、リスクが高いと考えられている³⁾。しかし、マーク（図 3）表示のある JADA 認定商品に比べ、一般的なサプリメントは判別が容易ではない。さらに、製造ロットにより含まれる成分が違うのであれば判別は困難を極める。今回の調査では、原材料の汚染、製造過程における汚染について製造会社の対応について調査を行った。

設問 1 に関して、ドーピング検査対象者の製品服用可能と回答した 7 社はいずれも SS 製造会社であった。ウェブサイト上にも使用可能と明記されていた 4 社は自社製品の安全性アピールあるいは頻回の問い合わせ対応のため掲載したのではないかと推察される。SS 製造会社において 2 社は「分からない」との回答であったが、これはドーピング禁止表国際基準⁴⁾が例示物質以外も違反となる可能性があるオープンリスト形式であることを考慮した回答であった。

設問 2 に関しては、保証できる根拠として自社品質検査

あるいは、第三者機関認証を受けているとの回答が得られた。製造ロットごとに検査を行っていないものもあったが 4 社は第三者機関認証を受けているとのことであった。SS 製造会社であっても製造ロットごとの検査まで行っていない会社も存在した。第三者機関は、異なる 3 社であったが、いずれも SS 認証を行っている海外の分析会社であった。第三者機関認証は日本では馴染み深くないため利用に当たっては注意が必要と考えられる。

SS 製造会社において品質検査が強化される傾向があった。品質検査は自社以外にも第三者機関による品質検査を行っている製造会社も存在した。第三者機関認証は認証制度により検査項目が異なるがサプリメントの選択基準の一つとなりうる。JADA においてはサプリメント認証枠組み検証有識者会議⁵⁾が設置され、JADA 認定商品のあり方が問われており今後の動向に注視する必要がある。サプリメントを取り巻く状況は目まぐるしく変化しており、今後、一層の注意が必要である。第三者機関認証情報なども参考にドーピング違反リスクを減らせるような情報収集が必要と考えられる。

【文献】

- 1) 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構（JSAA-DP-2016-001号事案）
- 2) JADA サプリメント分析認証プログラム
<http://www.playtruejapan.org/qualified/>
（最終閲覧日：2017年10月1日）
- 3) 健康食品による健康被害の未然防止と拡大防止に向けて
https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/dl/pamph_healthfood.pdf
（最終閲覧日：2018年10月1日）
- 4) 禁止表国際基準
<https://www.playtruejapan.org/wp/wp-content/uploads/2017/12/2018-Prohibited-List-Japanese.pdf>
（最終閲覧日：2018年10月1日）
- 5) サプリメント認証制度検証有識者会議を設置
<https://www.playtruejapan.org/wp/wp-content/uploads/2017/09/eebdd178d4fa974663ffd490d099b865.pdf>
（最終閲覧日：2018年10月1日）
「サプリメント認証制度検証有識者会議」から「サプリメント認証枠組み検証有識者会議」に名称変更
（平成30年4月12日）

【謝辞】

本論文を作成執筆するにあたってご指導いただいた大分市医師会立アルメイダ病院薬剤部長 森一生先生、御校閲いただいた大分医学技術専門学校校長・大分大学名誉教授 島田達生先生に深謝いたします。

製造会社	SS 製造	設問 1		設問 2	
		使用可能	分からない	保証できる	保証できない
A	○	○※ 1		○	
B	○	○		○※ 2	
C	○		○		○
D	○	○※ 1		○	
E	○		○	○※ 2	
F	○	○※ 1		○	
G	○	○※ 1		※ 2	○
H	○	○		○	
I	○	○		※ 2	○
J			○		○
K			○		○
L			○	○	

表 1. サプリメント製造会社に対するアンケート結果

※ 1：ウェブサイトにて使用可能と表記

※ 2：第三者機関による認証取得

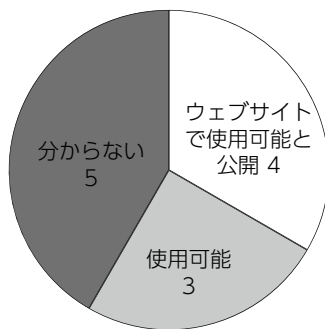


図 1. ドーピング検査対象者の製品服用可否について (N=12)

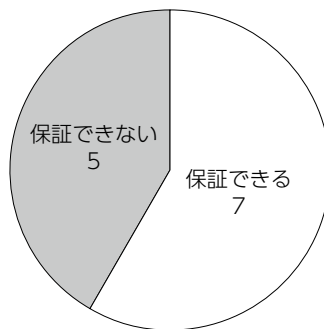


図 2. 全ロットにおける製品の汚染なしの保証について (N=12)



図 3. JADA認証マーク

一般社団法人
大分県スポーツ学会
第8回フォーラム

テーマ

社会の中のスポーツ
～人々はスポーツをどう眺め、何に期待しているのか～

会 期 2018年6月16日（土）

会 場 別府ビーコンプラザ 中会議室

プログラム

開会セレモニー	13:30～
---------	--------

パネルディスカッション	13:35～
-------------	--------

コメンテーター：大杉 至（大分大学 福祉健康科学部 教授）
コーディネーター：谷口 勇一（大分大学 教育学部）

社会の中のスポーツ～スポーツに対する期待，そして不満

基調講演

社会学者からみたスポーツ－その可能性と課題－

大杉 至 大分大学 福祉健康科学部 教授

登壇者

政治・行政の立場から～スポーツ行政に思うこと

森 誠一 大分県議会議員

元アスリートの立場から～大分のスポーツに思うこと

高松 大樹 学会理事 / 大分市議会議員

医師の立場から～スポーツ指導者に思うこと

松田 貴雄 学会員 / 独立行政法人国立病院機構 西別府病院 スポーツ医学センター長

食育スポーツキャラバン隊の活動を通して～スポーツキッズの保護者に思うこと

平川 史子 学会員 / 別府大学 食物栄養科学部 食物栄養学科

閉会セレモニー	16:30～
---------	--------

パネルディスカッション

社会の中のスポーツ～スポーツに対する期待、そして不満



コーディネーター

パネルディスカッションを終えて

谷口 勇一

大分大学 教育学部

パネルディスカッションを一言で総括すれば、「有意義であった」としたい。

「社会の中のスポーツ」なるテーマは、捉えようによっては、漠とした感が否めない。しかしながら、昨今では多用されるフレーズでもあるように思われる。なにゆえに、社会の中のスポーツなのか、そしてまた、スポーツは社会にとっていかなる存在であるのか、を問う作業は、学術団体である以上（学術団体でなくとも）、不可欠な事柄の1つと理解したい。今回のパネルディスカッションは、その問いに対する答えの一端が明確になり得た、ように思えてならない。

「政治・行政の立場から」論じていただいた森誠一先生からは、「スポーツがひとの心を動かし得ること」、そしてまた、個人的には、「政（まつりごと）とは、スポーツの様（さま）によく似ている」との印象も抱いた。一喜一憂、試行錯誤、戦術・戦略・作戦といったスポーツを取りまく多くの様（さま）は、まさに、政治のそれではあるまいか。

「元アスリートの立場」にある高松大樹先生からは、「アスリートをその気にさせるしかけ」の重要性が強調されていた。なかでも、メディア介在の重要性については、おおいに首肯させられた。「ヒーローとはつくられるもの」。確かに、である。

「医師の立場から」論じていただいた松田貴雄先生からは、スポーツ指導者に求められる「ダイバーシティ（多様性）」の重要性が訴えられていた。若年層を取りまく、いわゆるオーバーユース障害事例に数多く接しておられる先生からのメッセージは、スポーツ指導者の端くれである小生にお

いても「響く」ものであった。スポーツはそもそもプレイ（遊び）。遊びたいひと、競い合いたいひと、そして眺めるだけでもいいひと、スポーツへの関わり方の多様性を保証できる社会システムの構築こそ肝要なのであろう。

「栄養学・母親の立場から」は平川史子先生。先生からは、食育スポーツキャラバン隊の活動を通して、食、そして家庭教育の重要性が訴えかけられた。「硬いものを食べない子どもはひ弱な傾向にあること」、「睡眠時間の短さは朝の欠食を招き」、「集中力の欠如を惹起させることに」なる内容は、わが家に鑑みたとき…、切実な問題である…。

コメンテーターをいただいた大杉至先生（社会学者）からのコメントは、「おもしろかった」。基調講演でも触れられておられた「スポーツは社会の連帯性強化に貢献する」こと、まさに、「社会の中のスポーツ」をめぐる解答であったように思えてならない。そしてまた、「反省会」（飲み会）の大切さ。スポーツとは、いや、社会とは、それがあから成立しているのかもしれない。反省とともに「余韻」に浸る業こそ、スポーツの本質と捉えたい。

「スポーツはそれ自体ですでに社会を形成している」。そう理解するに至ったパネルディスカッションであった。「スポーツをみつめることは、ひとを知ることに通ずる」。スポーツ社会学研究者の一人としては、そんなふうに思っ

てやまない。みんなでスポーツを考える業は、私たちのいま（現在地）を知ることには他ならないのであろう。

フロアの方々とも活発な意見交換ができたこと、それだけで十分に有意義でありました。

パネルディスカッション

社会の中のスポーツ～スポーツに対する期待、そして不満

基調講演



社会学者からみたスポーツ －その可能性と課題－

大杉 至

大分大学 福祉健康科学部 教授

「社会学者」というとおこがましいので、ただのスポーツ好きの中年（正確には初老？）の話として聞いていただければ幸いです。

1. スポーツとは（定義）

「スポーツ」の語源はラテン語のdeportareであり、日常の生活から離れること、すなわち気晴らしをする、楽しむ、遊ぶといったことを意味していたとされます。したがって「俗」なる日常を抜け出して、それとは異なる原則からなる「聖」なる空間で「遊ぶ」ということがその本質といえます。

ただし、「スポーツ」と類似し、場合によると重複するカテゴリーとして「遊び」「運動」もあり、個々の事例をどう位置づけるかは簡単でない場合が生じてきます。例えば「釣り」は？「将棋」「剣玉」は？これらがスポーツだとすると、「テレビゲーム」は？「ポケモンGO」は？ときりがありません。

そこで、スポーツの定義としては、「人間が自発的に喜び、楽しみ、満足のために行う活発な活動のすべて」（S.C.ステアリー）程度の比較的ゆるいもので十分でしょう。

2. 古典理論より

遊びに関する古典的理論として、ホイジンガの『ホモ・ルーデンス』（1938年）とカイヨワの『遊びと人間』（1958年）が有名です。これらには遊びの一領域としてのスポーツが扱われています。

まず、ホイジンガは遊びの定義を「一定の時空の限界内で完了し、自由に同意された、しかし、完全に命令的な規則に従い、それ自体のうちに目的を持ち、緊張と喜びの感情、日常とは違うという意識を伴う自発的な行動あるいは活動である」としています。つまり、①「自由な」もの、②日常生活から独立した固有の領域、③完結性と限定性、を特徴としています。だから、「遊び破りは魔法の世界をぶち壊してしまう」のです。

次にカイヨワは、①自由な、②分離した、③不確実な、非生産的な、⑤ルールのある、⑥虚構的な活動、が遊びの本質であるとしており、したがってスポーツの本質でもあります。だから、「日常生活によるあらゆる汚染が、遊びの本質そのものを変質させ、破壊することを予想させるものである」となります。

日大アメフト部のルール違反があれだけ叩かれるのは、選手にルール違反の指示を監督が行ったことにありますが、その監督が大学の副理事長であったことに加えて人事部長でもあったことも大きく影響しているでしょう。まさに「俗」の権化のような存在です。「俗」が「聖」であるスポーツに土足で踏み込んだ訳ですから、人々の怒りの火に油を注いだ格好になったわけです。

3. スポーツ調査より

スポーツ庁は「スポーツの実施状況に関する世論調査」を定期的に行っています。それをもとに今日の状況を探ってみましょう。

まず、ここ20年程度の年代別の体力テストの結果をみると、他の年代が横ばい状態であるのに対して、65歳代以上で右肩上がりになっているのが特徴です。つまり高齢者の体力が年々向上しているのです。

それを裏付けるように、運動・スポーツの実施状況では、この1年間に行った割合は10代、60代、70代で高く、30代から50代で低いことがわかります。10代は学校で体育があるのでその影響でしょうが、高齢者のスポーツ実施が際立っているのです。

その種類としては、他の年代に比べて高齢者に多いのがウォーキング、体操です。これは私たちが街で見る光景と一致しています。1980年代当時には「歩け歩け運動」と呼ばれて推奨されていましたが、それが完全に根付いたといってもいいでしょう。「自分自身にとって運動・スポーツは大切か」という質問に対しても10代と高齢者で「大切だ」が高いという結果が出ています。

このように、現代のスポーツに関する動きを先導しているのが高齢者であるといってもいいような、数十年前までは考えられないような状況が生まれています。ただ、逆にいえば働き盛りの年代でスポーツをする余裕がないということも明白なので、これを改善する取り組みも今後は考えていかなければならないと思います。

4. 年齢とスポーツ（私の体験より）

とはいえ、年齢とともに体力が落ちていくのは自然の摂理ですから、それを受け入れていくことも必要です。思えば小学校の時分には、実際には無理ですが「いつまでも走り続けられる」といった感覚があり、陸上部にいた中学校の頃には雨の後ランニングをしたら、上着の背中はもちろん帽子の後ろまで靴底が跳ね上げる泥で汚れていたものです。

37歳で大分大学に赴任すると、大分医科大学（当時）まで往復する学内駅伝があり、「教官チーム」も含め60チーム近くが出場していました。私個人としては区間で2位に入ったこともありましたが。しかし時代も変わり、2000年代になるとコースも次第に短くなり、大学駅伝もついには消滅してしまいました。おそらく個人主義が進展し、仲間とタスクをつなぐといったことに学生たちが魅力を感じなくなったのだと思います。

私も年齢を重ね、毎年参加しているハーフマラソンの記録なども「順調に」遅くなっています。原因は主にストライドが狭くなっていることです。筋力が落ち、体も硬くなっているからでしょう。将来的にはウォーキングしかできなくなるかもしれませんが、年齢には勝てないということで、受け入れるしかありません。

5. まとめに代えて

年齢によって体力やできるスポーツの種類は変化しても、スポーツには多くのメリットがあります。まず、多くの高齢者がウォーキングや体操を中心にスポーツを取り入れていることから、健康増進が実現しつつあります。汗を流した後の達成感、多幸感は実践したものでなければわからない「この世に存在してよかった」という実存的感覚です。仲間との連帯性ももたらしてくれます。マラソンなどは個人競技ですが、終わった後に「反省会」と称して仲間で飲むのも楽しいものです。

このように、スポーツの魅力は数え上げることが困難なほどたくさんあるので、ますますスポーツが普及することを願って、話を終わらせていただきます。

パネルディスカッション

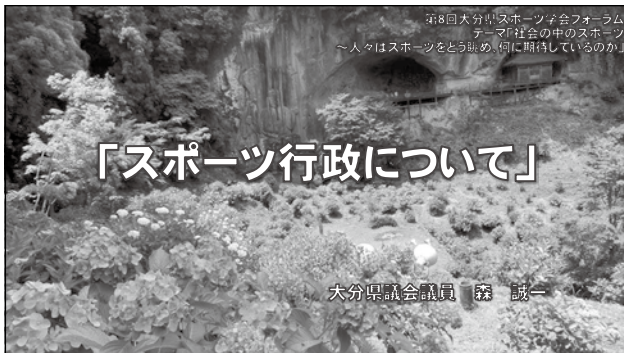
社会の中のスポーツ～スポーツに対する期待、そして不満



登壇者

政治・行政の立場から ～スポーツ行政に思うこと

大分県議会議員 森 誠一



日本のスポーツ政策 関連法令等

- ・1961年 スポーツ振興法制定
- ・2000年 スポーツ振興基本計画(振興法4条規定)
- ・2007年 地方行政の組織及び運営に関する法律の改正
スポーツ行政の所管「教育委員会」→「首長部局」が可能に
(但し、学校における体育に関するものを除く)
- 2010年 スポーツ基本法制定
- 2012年 スポーツ基本計画
- 2015年10月1日 スポーツ庁設置(スポーツ行政の一元化)

振興法と基本法

- スポーツ振興法
…スポーツ振興に関する施策の基本を明らかにする。
 - スポーツ基本法
…国及び地方公共団体の責務、スポーツ団体の努力を明らかにし、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与する。
- 目的が大きく変わった！
地域の一体感、活力醸成、地域社会再生への寄与を目指すことが可能に！

スポーツ関連条例策定状況

- 都道府県
条例制定…10地域、 制定予定…1地域
検討中…1地域、 なし… 35地域
※首長部局の方が教育委員会よりも策定率が高い
※首長部局の方が多様な施策を計画に盛り込んでいる(ex. スポーツビジネス等)
- 大分県スポーツ推進条例(議員提案条例：平成30年3月制定)
県民の誰もが、それぞれのライフステージに応じて、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を味わいながら、健康で活力ある豊かな生活を営むことのできる大分県の実現をめざす。

地方行政の組織及び運営に関する法律の改正

- 2004年 文科大臣が中央教育審議会に諮問。
「地方分権時代における教育委員会のあり方」について。
- ・教育制度分科会でスポーツ行政について、特に「首長と教育委員会との連携の在り方」について議論。
 - ①実態的に、国体等で特別部門を設置して対応している。
 - ②スポーツを支える部門は組織の専門性を高めるべきである。
 - ・地方行政の組織及び運営に関する法律により、職務権限が規定されているため、実態的に国際大会やプロスポーツのイベント誘致や観光施策等との連携が困難となっている。
- ↓
- 「スポーツ政策を教育委員会だけで所管することは困難である」

地方行政の組織及び運営に関する法律の改正

- ・2007年 中央教育審議会「答申」
(教育基本法の改正を受けて緊急に必要とされる教育制度の改正について)
 - 「教育委員会の所掌事務のうち、スポーツ(学校における体育を除く。)に関する事務は、地方自治体の判断により、首長が担当できるものとする。」
- 法第24条の2第1項規定。
スポーツ行政の管理執行を首長に移管することが可能に！

地方行政の組織及び運営に関する法律の改正

・法改正(2007年)により、
地方自治体は、スポーツを学校教育、生涯学習の分野から、文化や観光など「スポーツによるまちづくり」を推進することが可能に！

【各県のスポーツ行政の所管】

2012年(平成24年) 知事部局 34.0% 教育委員会 66.0%
↓ ↓
2016年(平成28年) 知事部局 53.2% 教育委員会 46.8%

九州各県のスポーツ政策担当部局

県	知事部局	教育委員会	名称	備考
福岡県	●		人づくり・県民生活部 スポーツ振興課	
佐賀県	●		地域交流部 スポーツ課	
長崎県	●		企画振興部 スポーツ振興課	競技力向上は教育委員会
熊本県		●	教育委員会 体育保健課	
大分県		●	教育委員会 体育保健課	
宮崎県		●	教育委員会 スポーツ振興課	スポーツランド推進室(商工観光労働部内)
鹿児島県		●	教育委員会 体育保健課	
沖縄県	●		文化観光スポーツ部 スポーツ振興課	スポーツツーリズム戦略、産業振興戦略策定

地方行政の組織及び運営に関する法律の改正

大分市は平成29年4月1日より市長部局に移管。

「大分市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例」
(平成28年 大分市議会第4回定例会にて議決)

「スポーツに関すること(学校における体育に関することは除く)は、市長が管理し、及び執行するものとする。」

●条例中 「教育委員会」 → 「市長」 に改める
「教育委員会事務局」 → 「企画部」 に改める
など

スポーツ政策所管部署について

●スポーツ部局を首長部局に移管した理由(都道府県)

- ①スポーツ政策の首長部局内の連携推進
- ②まちづくりに活かすため
- ③スポーツの地域全体への浸透を図るため
- ④スポーツを商業や観光に活かすため
- ⑤スポーツと健康福祉を結び付けるため
- ⑥プロスポーツと連携を図るため
- ⑦スポーツイベントを誘致するため
- ⑧スポーツビジネスを推進するため

これからのスポーツ施策の展開

●都道府県においては・・・
施策実現のために、半数を超える自治体がスポーツ所管を教育委員会から知事部局へ移管。

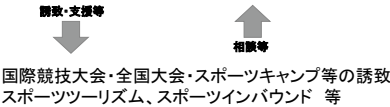
●スポーツ施策の目的は・・・
スポーツ振興 → 地域振興、まちづくり
実現に向けた多様な連携が必要。行政連携も必要。

→ スポーツが社会に与える影響は非常に大きい！

これからのスポーツ施策の展開

●地域スポーツコミッション(スポーツによる地域活性化の推進役)
自治体、スポーツ団体、企業などが一体となり、「する」「観る」「支える」スポーツや、スポーツを観光資源としたツーリズム等を展開。
(時間の組織ではない、特定の大会やイベント等に特化しない)

地域スポーツの窓口と責任体制をワンストップ化



参考文献

●平成28年度スポーツ政策調査研究「地方スポーツ行政に関する調査研究」
平成29年3月 スポーツ庁

●地方自治体におけるスポーツ政策の新たな展開に関する研究
細田隆、瀬田史彦、小泉秀樹
平成28年10月 公益社団法人日本都市計画学会都市計画論文集Vol.51

パネルディスカッション

社会の中のスポーツ～スポーツに対する期待、そして不満



登壇者

元アスリートの立場から ～大分のスポーツに思うこと

学会理事 高松 大樹
大分市議会議員

社会の中のスポーツ ～スポーツに対する期待、そして不満

元アスリートの立場から
…大分のスポーツに思うこと…
大分市議会議員 高松大樹

元アスリートの立場から大分を見る

大分は相対的に「スポーツの価値」が低いのでは？

- 1、スポーツ施設:ここ10年で充実の方向
2002年FIFAワールドカップ、2008年大分国体
2019年ラグビーワールドカップ
- 2、スポーツ報道、
「負けへの追求心」
勝っても負けても、長所・短所をしっかりと指摘する。

3. スポーツの国際化

① 国際大会

特に10代の若い世代に多くの経験
夢を持ち、世界へ挑戦する心

② 国際大会の習慣化

パネルディスカッション

社会の中のスポーツ～スポーツに対する期待，そして不満



登壇者

医師の立場から ～スポーツ指導者に思うこと

学会員 松田 貴雄

独立行政法人国立病院機構 西別府病院 スポーツ医学センター長

大分県スポーツ学会 第8回フォーラム
社会の中のスポーツ
～人々はスポーツをどう眺め、何に期待しているのか～

社会の中のスポーツ
～スポーツに対する期待、そして不満
医師の立場から ～スポーツ指導者に思うこと

平成30年6月16日
国立病院機構西別府病院スポーツ医学センター 松田貴雄

研究が大きなウェイトを占めるようになってきた

動作解析
野村ID野球
データ分析
ビデオ判定
戦術分析

スポーツと医学の関係

スポーツ医学
最大の貢献

1983
ゲータレード
発売

救急医学

輸液の研究
熱中症研究

「水飲むな!!」

ディスポ製品の普及
血管留置針

スポーツにおけるパフォーマンス向上

科学的な視点が必要になっている
経験のみからでは得られない知見

ロッキー4

ソ連

スポーツ医学は役に立つ

日本では
これまで
整形外科中心

「ケガを治す」

戦列を離れる
チームとして
パフォーマンス低下

現在
これから
予防医学中心

「ケガをさせない」

お手本
糖尿病
老年医学

勝つためのスポーツ医学へ

医学の流れ
フレジジョン メティシ

コンパニオン診断

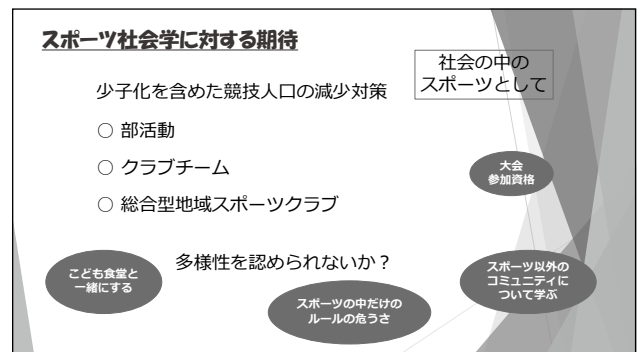
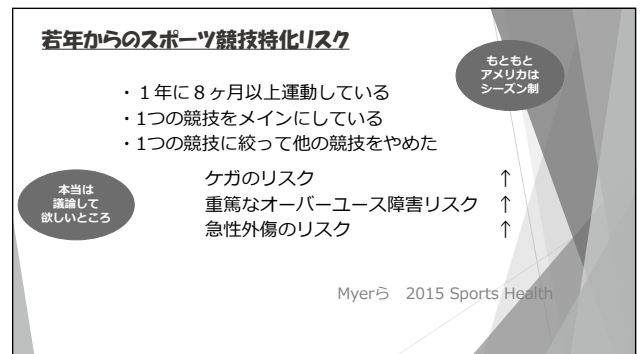
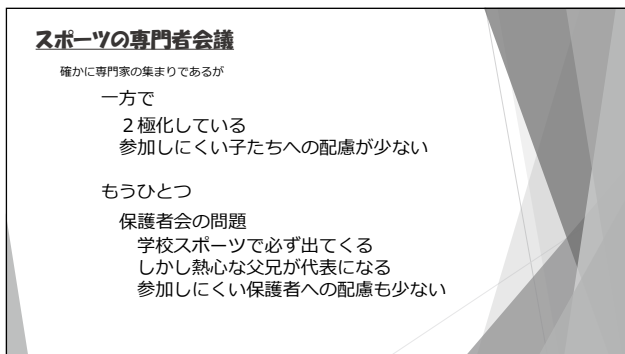
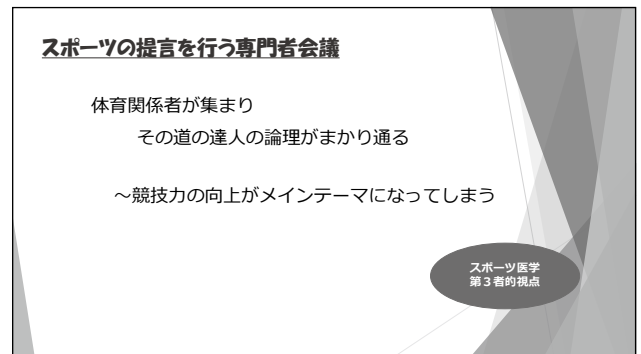
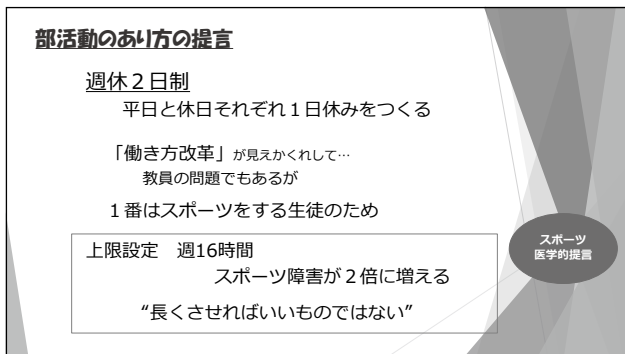
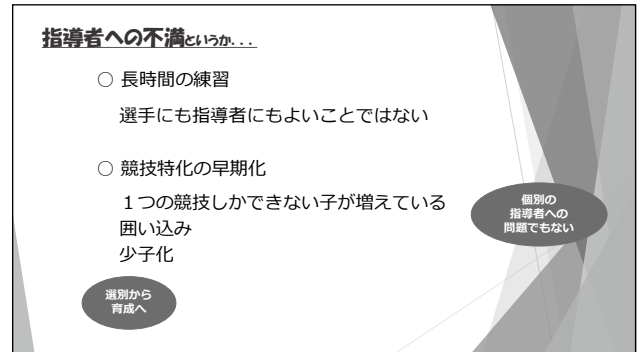
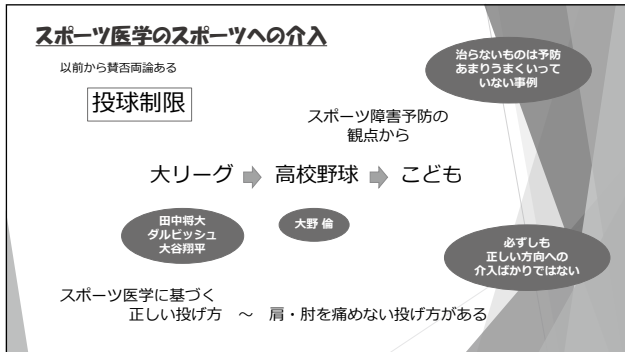
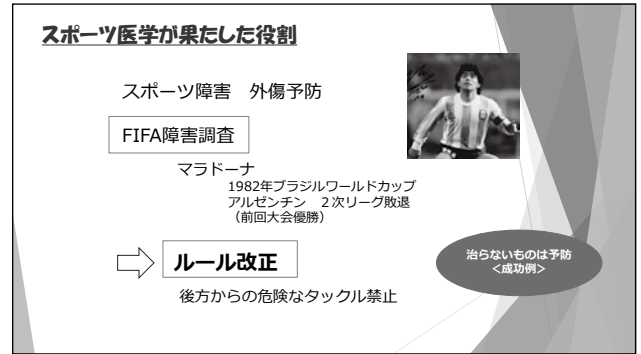
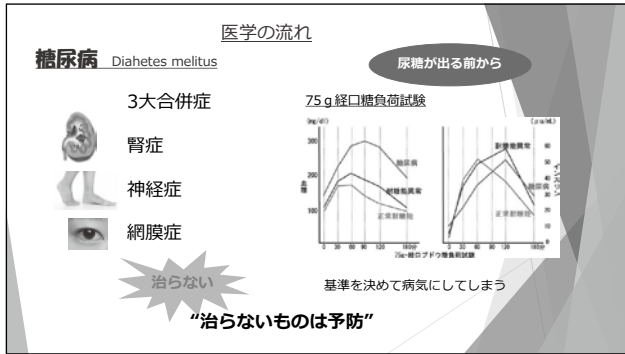
集団A
抗癌剤
奏効率10%

集団Bを抽出
集団B
奏効率90%

「スポーツの指導も同じではないか？」

経験だけでなく
専門的知識
最新情報を
取り入れる

“治す集団を選別”



測定や食習慣アンケートを取りながら、データ化し指導することで、エビデンスが構築でき、より興味深い、説得力のある栄養指導をすることができる。児童、生徒たちも体づくりのため、練習の成果を効率よく出せるための食事のとり方を習得することができると思う。このことから児童・生徒とその保護者にとってスポーツ活動が食事に対する意識をより高めるためのツールであることがわかる。

問題点として、スポーツ活動を定期的に行う児童生徒は、練習時間により食事時間が遅くなることが挙げられる。部活のあと塾に通っている生徒は、さらに夕食が遅くなる。夜遅い食事は栄養バランスや睡眠時間に影響を与え、ひいては朝食欠食にもつながっていく。また、偏食が多いのも課題の1つだ（図1）。偏食のある子どもに対して残さず

食べるように声掛けもしないし、調理の工夫もしていない保護者も見受けられる。また、最近は子どもの嫌いな食べ物を料理すらしない家庭も増えている（図2）。児童・生徒の食習慣の基礎の形成は保護者に委ねられていることが多いため、保護者においても養育態度、食行動等の行動変容が必要である。

スポーツをする児童・生徒にとって健全な食習慣と正しい栄養の知識を身につけることは基礎体力づくり、コンディション維持、故障予防、競技力向上に役立つだけでなく、健康で豊かな人間性を育んでいく上で重要な役割を担うものと考えられる。保護者には子ども達が現在をいきいきと生き、かつ生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本としての食を営む力を育てていくことを期待したい。

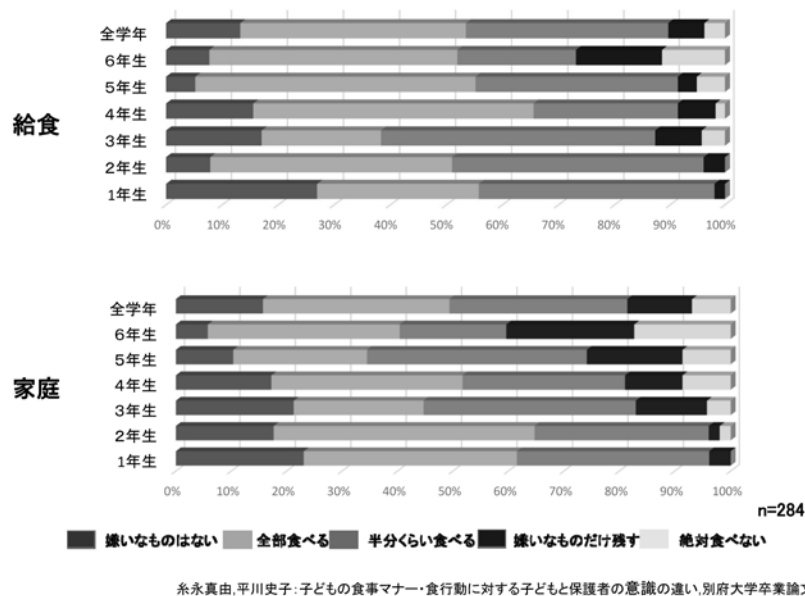


図1. 給食または家庭で嫌いなものがでたらどうするか

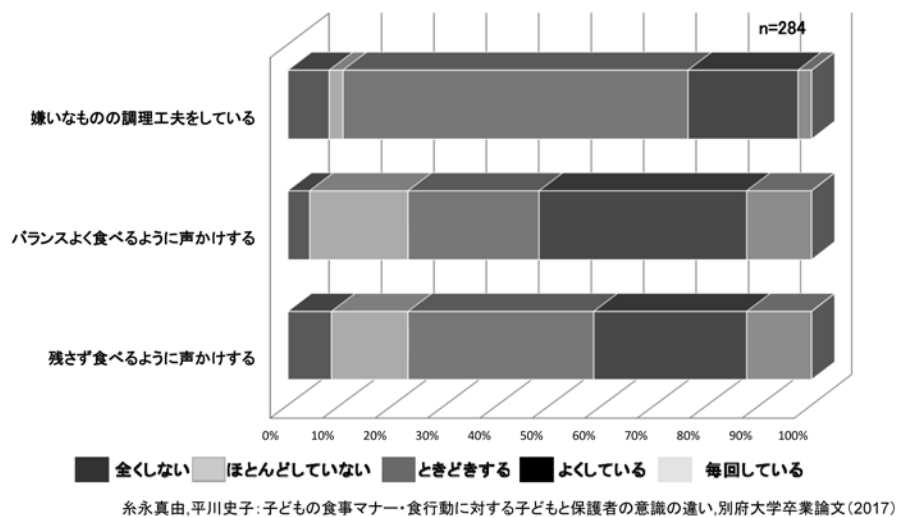


図2. 偏食がある子どもに対して保護者の対応

スポーツ救護講習会 メディカルマネージャー養成講習会

平成 30 年度 一般社団法人 大分県スポーツ学会

認定スポーツ救護 講習会 第 9 期

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師
公開	9 期 8/25(土)	9:20～9:50	受付	大分県スポーツ学会 事務局
		9:50～9:55	オリエンテーション	大分県スポーツ学会副事務局長 栗秋 良子
		10:00～10:10	開講式	大分県スポーツ学会顧問 敬和会 統括院長 森 照明
		10:10～11:10	スポーツ救護・小処置	大分県スポーツ学会顧問 敬和会 統括院長 森 照明
		11:10～11:30	スポーツ歯科学	西別府病院 歯科部長 保科 早苗
		11:30～12:15	昼休み・認定用写真撮影	
		12:15～12:25	<<会場 設営>>	
		12:30～17:00	スポーツ救命救急 講義・実技 検定試験	日本赤十字社 指導員（4 名） ＜日本赤十字基礎救講習＞ 1 次救急 BLS、AED の取扱い
		17:00～17:40	休憩	
		17:40～18:40	スポーツ頭部外傷(10 カ条の提言) (脳振盪、意識障害の診方と処置)	大分県スポーツ学会顧問 敬和会 統括院長 森 照明
		18:40～19:00	スポーツ栄養学	別府大学食物栄養学科教授(元ホークス管理栄養士) 平川 史子
		19:00～19:20	スポーツ薬学(アンチドーピング)	大分県薬剤師会 ドーピング防止委員長 山田 雅也
		19:20～19:30	認定の諸説明	大分県スポーツ学会 事務局長 佐藤 浩二
公開	9 期 8/26(日)	9:00～9:30	受付	大分県スポーツ学会 事務局
		9:30～10:45	① スポーツ障害 ② スポーツ外傷	大場整形外科 院長 大場 俊二
		10:45～10:55	<<会場 設営>>	
		10:55～12:30	スポーツと運動器疾患（骨・関節外傷・ 講義・実技 傷害、切創・挫傷・擦過傷） テーピングの方法（実技・予防） アイシングの方法	大分県スポーツ学会理事 ・ 大場整形理学療法士 日本スポーツ協会公認アスレチックトレーナー (大分県スポーツ学会メディカルマネージャー事務局) 牧 健一郎 大場整形理学療法士 ・ 大分県スポーツ学会事務局 メディカルマネージャー事務局 中村 友
		12:30～13:10	昼休み・認定用写真撮影	
		13:10～13:30	健康スポーツ学総論	大分県スポーツ学会 理事長 稲垣 敦
		13:30～14:00	小児救急概論(子ども外傷の診方)	大分厚生連鶴見病院 院長 鈴木 正義
		14:00～14:30	スポーツと内科疾患(呼吸器・心疾患)	西別府病院 循環器内科部長 天田 浩司
		14:30～14:50	スポーツ耳鼻科	府内耳鼻科 院長 植山 茂宏
		15:00～15:40	スポーツ熱中症 (解剖学) スポーツ熱中症 (総論)	大分医学技術専門学校 校長 島田 達生 社会医療法人 敬和会 統括院長 森 照明
		15:40～15:50	閉講式(修了証 授与式)	大分県スポーツ学会 理事長 稲垣 敦
		15:50～16:20	スポーツ救護 認定試験・審査会 筆記 実技試験合格者：(認定希望者のみ実施)	大分県スポーツ学会理事・役員



メディカルマネージャー 認定講習会

成長期のスポーツ選手から傷害を減らしましょう！！

■ 2018年 講習会日程

■ 4月16日(月) 6月18日(月)

■ 8月20日(月) 10月15日(月)

■ 12月17日(月) 2月18日(月)

■ 時 間： 19:30-21:30

■ 場 所： 大分スポーツ

■ リハビリテーションセンター

■ 受講費用： 2000円

■ 主催 大分県スポーツ学会

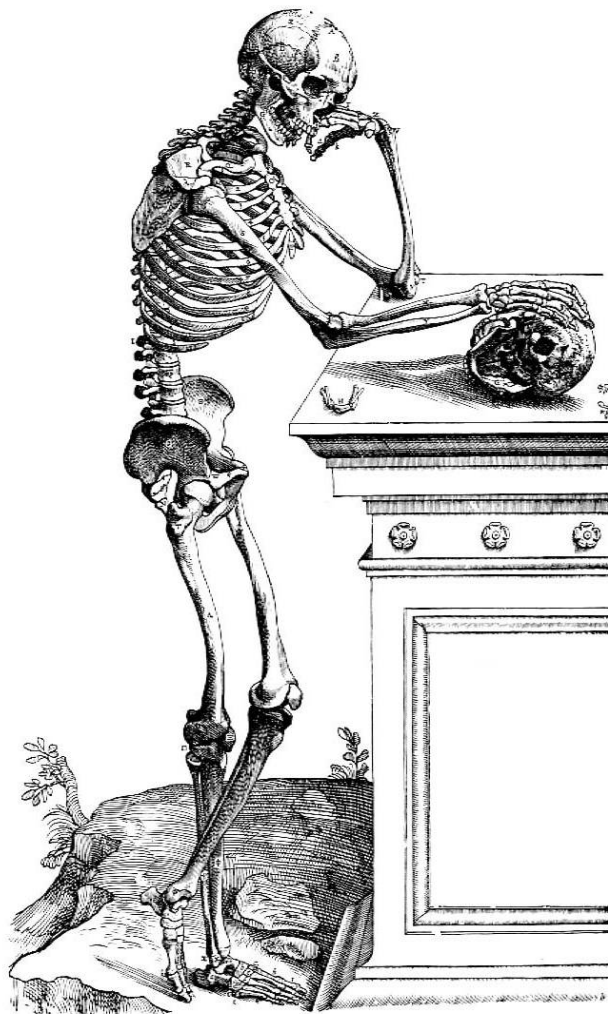
■ 主管 大分スポーツリハビリテーションセンター

ご予約
お問い合わせ

日本メディカルマネージャー事務局 大分支部
(大場整形外科)

TEL: 097-556-1311

世界最初の解剖書
ファブリカより



一般社団法人
大分県スポーツ学会
第10回学術大会

テーマ

大分県のスポーツのこれからを考える
～県民の健康・生活・人生を支えるスポーツとは～

大会長 高森 聖人（公益社団法人 大分県作業療法協会 会長）

会 期 2018年12月16日（日）

会 場 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 国際会議室

ごあいさつ



一般社団法人 大分県スポーツ学会 理事長
稲垣 敦（大分県立看護科学大学 教授）

大分県スポーツ学会第10回学術大会を平成30年12月16日（日）に別府国際コンベンションセンターで開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当学会は、スポーツに関する知識と技術の研鑽を積み、会員相互の情報交換を通じて、大分県における健全なる青少年の育成とスポーツの人材育成を図ると共に、県民の体力向上、健康増進、スポーツ文化の醸成に寄与することを目的として平成22年の春に設立されました。そして、スポーツ救護ナース・救護員の養成・派遣・スキルアップ研修会の開催、学術大会やフォーラムの開催、メディカルマネージャーの養成、機関誌「スポーツおいた」の刊行等に取り組んで参りました。特に、スポーツ救護ナース・救護員の認定者数は、810名となりました。

今回の第10回学術大会のテーマは、「大分県のスポーツのこれからを考える：県民の健康・生活・人生を支えるスポーツとは」です。このテーマは当学会の設立の趣意そのものを問うテーマであり、今回が第10回記念大会という節目の大会なので、まさに今がこれまでの当学会の活動を振り返り、今後の方向性を考える時であります。また、オリンピック／パラリンピックの開催国では毎回、スポーツ関連の国際学術会議が開催されますが、2020年には横浜で開催されます。この会議のテーマは「多様な人々が共に生きる世界をめざして：体育・健康・スポーツ科学の貢献」“Contributing to a Sustainable World”です。このテーマも、当学会のビジョンや今回の学術大会のテーマと共通しています。当学会の理事を務めて頂いております大分県作業療法協会会長の高森聖人大会長には、本当にタイムリーなテーマをつけて頂き、心より感謝申し上げます。参加者の皆様におかれましても、この点を念頭において、一般演題やシンポジウムにおいて活発な議論をよろしくお願い申し上げます。

さて、スポーツ庁は10月22日にNCAA（National Collegiate Athletic Association、全米大学体育協会）の日本版を創設し、名称をUNIVAS（一般社団法人大学スポーツ協会）に決定しました。この競技種目を超えた大学スポーツの統括組織は、今後、様々な活動をしていきますが、当学会がスポーツ救護ナース・救護員やメディカルマネージャーの養成をしている経験を活かして、UNIVASの安全安心に関わる事業に協力できればと考えています。

今年は大分トリニータが頑張り、6年ぶりのJ1昇格を決めました。来年は、大分でラグビーワールドカップが開催されます。当学会もスポーツ救護ナースの派遣等を通して、全力で応援します。スポーツは社会を元気づけるだけではなく、様々な、そして偉大な力があります。大分県スポーツ学会は研究だけではなく、スポーツを振興し、スポーツを通して人々の幸福と社会の持続的発展に寄与することを目指します。

最後になりましたが、第10回学術大会にご後援頂きました学協会や企業のご発展と参加者の皆様のご健勝を祈念し、また、開催にあたりご尽力を賜りました役員や学会事務局の皆様に感謝申し上げます。第10回学術大会開催のご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



第10回学術大会 大会長

高森 聖人（公益社団法人 大分県作業療法協会 会長）

大分県スポーツ学会学術大会は、2010年の第1回大会以降、子どもからトップアスリートまでさまざまな人々が行うスポーツを、生涯スポーツやユニバーサルスポーツ、競技力向上のためのコンディショニング、コーチングなどあらゆる側面から捉え、スポーツに関するそのときどきのトピックスをテーマに開催してきました。

近年、我が国においては、2019年 ラグビーワールドカップ、2020年 東京オリンピック・パラリンピックを控え、国際的なスポーツイベントがより身近に感じられるようになり、県内においても健康志向の高まりと相まって各種スポーツへの関心が高まっており、2016年に改訂された「大分県スポーツ推進計画」をもとに各種スポーツ振興施策が推進されているところです。

そのような状況下において、本学術大会が第10回という節目を迎えることになり、今回は特定のスポーツ分野に限定せず、大分県のスポーツ全体を概観し、さまざまな取り組みや現状を振り返るとともに、これからのスポーツ振興のあり方や、また本学会が果たすべき役割や今後の方向性を考える機会にしたいと考え、「大分県のスポーツのこれからを考える ～県民の健康・生活・人生を支えるスポーツとは～」というテーマを掲げさせていただきました。

当日は、多数の一般演題発表のほか、基調講演でスポーツ行政にかかわる県の二つの組織からスポーツ振興の取り組みについてお話しいただいたあと、高体連、総合型地域スポーツクラブ、障がい者スポーツ、県議会というさまざまな立場の方にご登壇いただき、県民のスポーツの現状と課題について参加者のみなさまとともに共有したいと思います。

本学術大会が、県民の健康・生活・人生を支えるスポーツのさらなる発展につながれば幸いです。

座長・発表者へのご案内

1. 口述発表者

(1) PPT差替えについて

受付時間内にウイルスチェック済のUSBメモリを受付にご提出ください。混乱を避けるために、できる限り余裕を持って受付にお越しください。

(2) 次発表者席について

自座の開始時には会場内にご着席され、1題前の発表者の登壇時に次発表者席に着いてください。

(3) 発表時間について

発表時間は7分、質疑応答2分です。時間厳守をお願いします。

2. ポスター発表者

(1) ポスター掲示について

受付後、開会式前までに会場内の該当パネルに、各自ポスターを掲示してください。

(2) 発表について

時間中はポスター前に立ち、質問等にお答えください。

(3) ポスター撤去について

閉会後に撤去してください。会場撤去時に残っているポスターは大会側で処分します。

3. 発表演題について

(1) 学術大会当日、表彰規程に基づき選考委員会による審査を行い、「優秀発表賞」を授与します。

(2) 後日、本学会機関誌「スポーツおおいた」に発表要旨を寄稿していただきます。

4. 口演座長

(1) 担当の前座開始時（前座長登壇時）には次座長席に着いてください。

発表時間は7分、質疑応答2分で進行をお願いします。

プログラム

開 会 式	10:00～
-------	--------

理事長 稲垣 敦 挨拶
大会長 高森 聖人 挨拶

一般演題発表	10:05～11:50
--------	-------------

セッションⅠ 10:05～10:55 6題

座長：谷口 勇一（大分大学 教育福祉科学部 教授）
平川 史子（別府大学 食物栄養科学部 教授）

1. 10週間のバドミントン練習が女子大学生の身体組成、体力、骨密度に及ぼす影響について
吉村 良孝 別府大学 食物栄養科学部 食物栄養学科
2. スポーツメディカルチェックで発見した高脂血症の例
清永 康平 別府大学大学院 食物栄養科学研究科 / 独立行政法人国立病院機構 西別府病院 スポーツ医学センター
3. スポーツ整形外科における「管理栄養士によるスポーツ栄養サポート」の可能性
ー成長期スポーツ選手への介入に着目してー
寺山 絵未 医療法人 大場整形外科 / 大分スポーツリハビリテーションセンター
4. サプリメント分析認証プログラムの比較検討
伊藤 英明 公益社団法人 大分県薬剤師会 学校保健・体育委員会
5. 別府大分毎日マラソンに出場して～選手目線から見た救護対策法～
川崎 徹也 独立行政法人国立病院機構 別府医療センター 臨床工学技士（認定救護員）
6. 皮下脂肪と内臓脂肪の違い
島田 達生 大分医学技術専門学校

セッションⅡ 11:00～11:50 6題

座長：島田 達生（大分医学技術専門学校 校長）
高橋 隆一（大分県理学療法士協会 副会長）

1. 学校部活動は必ず存続させなくてはならないースポーツ社会学からの「警鐘」
谷口 勇一 大分大学 教育学部
2. 障害者支援施設<にじ>における社会的行動障害に対する集団競技の効果について
福澤 至 別府リハビリテーションセンター 障害者支援施設<にじ>
3. 運動教室が高齢者の認知機能に及ぼす影響について
佐藤 亜美 別府大学 食物栄養科学部 食物栄養学科
4. 足関節・足部スポーツ傷害のアスレティックリハビリテーション
高司 博美 医療法人 大場整形外科

5. 発達運動学的視点からの「こどもの体幹トレーニング」
～赤ちゃんの動作で、体の支えと動きの土台を強くする

西原 清 宇佐整骨院

6. 大分県スポーツ学会認定スポーツ救護ナース・救護員養成システムの現況

栗秋 良子 社会医療法人敬和会 大分岡病院

ポスター発表

12:00～12:15

1. スポーツ救護活動における看護師としての関わりの検討

小原 優希 大分県スポーツ学会認定 スポーツナース / 日本健康運動看護学会認定健康運動看護師

2. 若年アスリートの胸郭出口症候群における短期術後成績

西崎 武文 独立行政法人国立病院機構 西別府病院 リハビリテーション科

3. 本校の障がい者スポーツへの取り組み紹介

日隈 武治 大分リハビリテーション専門学校 作業療法士科

4. 障がい者スポーツへの関わりと今後の展望

宮野 元樹 公益社団法人 大分県理学療法士協会 / 医療法人恵愛会 中村病院

5. 5回スポーツ研修会 活動報告

大津留聖太 公益社団法人 大分県作業療法協会 学術局 学術研修部

6. 小学生における運動部・スポーツクラブ所属の有無と体幹保持機能との関係

河野 吉喜 医療法人 大場整形外科

7. スポーツ障害予防の取り組み～メディカルマネージャー制度を大分県から全国へ～

伊東 健太 医療法人 大場整形外科 / 大分スポーツリハビリテーションセンター / 一般社団法人 大分県スポーツ学会

8. 当院における腰椎疲労骨折と腰椎分離症の発症率の比較

石田 直也 医療法人 大場整形外科

9. 大分県立看護科学大学「健康増進プロジェクト」の活動について

稲垣 敦 大分県立看護科学大学

10. スポーツ救護ナース・救護員派遣調整の現況

小副川直子 社会医療法人敬和会 大分岡病院

11. 2泊3日の高地野外活動を通じた学生の心理、行動の変化 データマイニングによる評価

小池 貴行 大分大学 理工学部 福祉メカトロニクスコース

休憩

12:15～13:00

基調講演

13:00~13:50

司会：稲垣 敦（大分県立看護科学大学 健康運動学研究室 教授）

大分県におけるスポーツ振興の取り組みについて

野中 公二 大分県教育庁体育保健課 生涯スポーツ班 指導主事兼主幹
森崎 宣和 大分県企画振興部芸術文化スポーツ振興課 国際スポーツ誘致・推進班 主幹

シンポジウム

14:00~16:00

司会：大場 俊二（医療法人 大場整形外科 院長）
高森 聖人（公益社団法人 大分県作業療法協会 会長（大会長））

大分県民のスポーツの現状と課題

シンポジスト

蓑田 智通 大分県高等学校体育連盟 会長
丸山 順道 大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会（SCおおいたネットワーク） 会長
堀川 裕二 大分県障害者スポーツ指導者協議会 相談役（前会長）
森 誠一 大分県議会議員

表彰式

16:00~16:10

優秀発表賞

閉会式

16:15~

次期大会長挨拶 島田 達生 一般社団法人 大分県スポーツ学会 理事 / 大分医学技術専門学校 校長・大分大学 名誉教授
安東 鉄男 一般社団法人 大分県スポーツ学会 理事 / 公益社団法人 大分県柔道整復師会 理事

基調講演



大分県における スポーツ振興の取り組みについて

野中 公二

大分県教育庁体育保健課 生涯スポーツ班 指導主事兼主幹

本県では、2020年東京オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ2019の大分開催など、県民のスポーツに対する意識や期待は高まりを見せています。

こうした中、本年3月には県議会による「大分県スポーツ推進条例」が公布・施行され、より多くの県民がスポーツに親しむことのできる環境づくりや、競技力の向上、スポーツによる地域の活性化等を更に促進するため、社会全体でスポーツを推進していくことが法制化されました。

本県においては、平成21年度に策定、平成28年度に改訂した「大分県スポーツ推進計画」の下、「県民総参加で本県のスポーツ力を高め、明るく元気な大分の創造」を基本理念として、各種スポーツ振興施策を推進しています。

学校体育の充実に向けては、体育授業の工夫改善や「一校一実践」として学校全体での体力向上の取り組みを行っ

ています。また、地域のスポーツ振興の中心的な役割を果たす総合型地域スポーツクラブにおいては、新たな会員確保に向けた取り組みのサポートを、さらに競技力向上対策では、国民体育大会での目標達成に向け、関係競技団体が取り組む選手強化をサポートしています。そして来年度4月には大分スポーツ公園内に、大分県立武道スポーツセンターがよいよ竣工するなど推進計画に沿った具体的な施策に取り組んでいるところです。

今後も「健康・体力・人づくり」、「活動の場づくり」、「システムづくり」、「基盤づくり」の4つのテーマの下、県民の誰もが、スポーツを通じて健康で活力ある豊かな生活を営むことができる大分県の実現を目指し各種施策を推進してまいります。

基調講演



大分県における スポーツ振興の取り組みについて

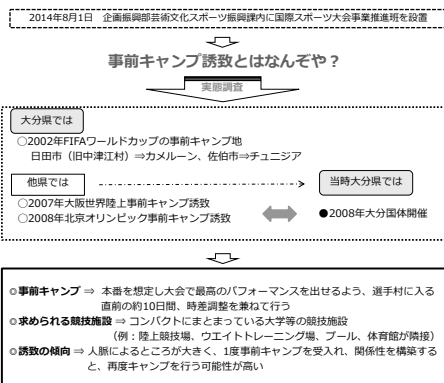
森崎 宣和

大分県企画振興部芸術文化スポーツ振興課
国際スポーツ誘致・推進班 主幹

東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致

大分県企画振興部 芸術文化スポーツ振興課 国際スポーツ誘致・推進班

① 東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致



②

県内競技施設調査

市町村、競技団体の意向と競技施設の実態調査

事前キャンプ誘致が出来る競技施設は県内にいくつあるか？

実際調査

各競技IFの技術要件確認

IFの技術要件とは…東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が定めた東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを推薦できる基準

適合確認

IF基準適合施設(10自治体24施設)

- ①大分市…大分市宮上競技場、コンパルホール
- ②別府市…青山グループ、別府総合体育館、野口原総合運動場、実相寺サッカー競技場
- ③中津市…永寿運動公園、三光総合運動公園、中津市総合体育館
- ④日田市…鎮生スポーツセンター、日田市総合体育館
- ⑤佐伯市…佐伯市総合運動公園陸上競技場、佐伯市総合運動公園多目的広場
- ⑥杵築市…杵築市文化体育館
- ⑦宇佐市…宇佐市平成の森公園多目的運動広場、はちまんの郷宇佐体育館
- ⑧国東市…アストくにさきアグリホール
- ⑨玖珠町…メルヘンの森スポーツ公園
- ⑩大分県…大分スポーツ公園総合競技場、大分スポーツ公園サッカー・ラグビー場、別府港北浜コッットハーバー、大分総合運動公園テニスコート、大分県立総合体育館、大分県立総合体育館フェンシング場

③

誘致活動

まずは人脈づくり、可能性を広げる！！

プレゼン資料

○大分県にゆかりのあるナショナルコーチ
(宗猛氏、マラソン、江村宏二氏、フェンシング、長野修士氏、テコンドーなど)

○大分県とつながりがある国の大使館
(ボリビア、チェコ、ニュージーランドなど)

○各中央競技団体
(日本陸上競技連盟、日本フェンシング協会、日本ラグビー協会など)

○チームや選手とつながりがあるメーカ
(ミズノ、アシックス、ヨネックスなど)

○国内で開催される国際大会
(セイコーゴールデンランプリ陸上大会、産道グランドスラム東京大会、アジア・ユース・ジュニアウエイトリフティング選手権など)

○外国で開催される国際大会参加国
(2015年世界陸上北京大会)

成功事例

2015年世界陸上北京大会事前キャンプ誘致

- ①キャンプ誘致プレゼン資料を作成 ※資料④⑤
- ②日本陸上競技連盟を通じて参加国へセールス ⇒ 陸連ホームページ掲載依頼、会議でのプレゼン資料配付依頼
- ③メーカを通じて契約国へセールス、独自で参加国へメール送信
- ④メール、電話で問い合わせあり

カナダ ⇒ 空港からのアクセスが悪い⇒×

ニュージーランド ⇒ 県内競技施設の視察を受けたがコンパクトさが無い⇒×

ボリビア ⇒ トレーナーを派遣してのサポート⇒○

誘致成功 ⇒ ※資料⑥⑦⑧

④ An Invitation to
プレゼン資料の参考例①

Oita

Why not hold your training camps in Oita Prefecture?

August 2014

Oita Prefecture

⑤ Oita Sports Park (Oita Bank Dome and more) Oita Prefecture
プレゼン資料の参考例②

【Oita Bank Dome】

- The pitch is 107m x 71m of natural turf. The track is an officially designated Type 1 Track and made out of all-weather material (the lanes are 400m x 9).
- There is an indoor practice area that features lanes of 120m x 4, and 4 toilets for athletes. It is also equipped with a changing room, training room, and meeting room.

【Sub-Stadium ("Daigin" Grounds)】

- Officially designated Type 3 stadium. Paved with all-weather suitable material. There is a 6 lane track (the straight track is 8 lanes) with a 400m circumference. There is also an infield made of natural turf.

【Area for Field Events ("Daigin" Field)】

- The stadium has an area especially designed for field events. There are 2 pits for shot-put, 1 pit for javelin, 1 pit for discus and 1 pit for the hammer throw.

⑥ 世界陸上2015北京大会 ボルトガル陸上代表(三段跳・砲丸投)チーム大分キャンプ①

事前キャンプの概要

ポルトガル陸上代表(三段跳・砲丸投)チームの概要

- 選手 ネルソン・エボリ (男: 三段跳、2008年北京オリンピック金メダリスト)
- バトシニア・マモナ (女: 三段跳、2012年ヘルシンキ欧州選手権銀メダリスト)
- スカー・コスタ (女: 三段跳)
- ワンコ・アウグスト (男: 砲丸投)
- スタッフ コーチ等4名、計8名
- キャンプ期間 平成27年8月6日(火)～18日(火) 13日間
- キャンプ場所 大分県行田 (大分市南境)

ポルトガル陸上選手団集合写真

事前キャンプ中の交流事業

歓迎セレモニー (8/6)

陸上教室 (8/7)

⑦ 世界陸上2015北京大会 ボルトガル陸上代表(三段跳・砲丸投)チーム大分キャンプ②

歓迎レセプション (8/10)

県内観光 (高崎山、うみたまこ、地獄廻り) (8/11)

陸上教室 (県代表選手へ個別レッスン) (8/17)

⑧ 世界陸上2015北京大会 ボルトガル陸上代表(三段跳・砲丸投)チーム大分キャンプ③

ポルトガル陸上選手団練習前後の様子

ポルトガルチームの北京大会成績

三段跳

- ネルソン・エボリ選手～決勝3位で銅メダル獲得、バトシニア・マモナ選手～予選A組8位で予選落ち、スカー・コスタ選手～予選B組記録なしで予選落ち

砲丸投

- ワンコ・アウグスト選手～予選A組14位で予選落ち

ネルソン・エボリ選手の写真とインタビュー

⑨ プレ事前キャンプの積極的な受入

東京2020大会の事前キャンプ地に大分を選んでもらう！！

受入のメリット

- 受入体制の構築
- 施設整備の改善
- 受入によるキャンプ地大分の情報発信
- 交流事業による競技普及や競技力向上

誘致活動

プレ事前キャンプ実施状況 (6市13件)

- ①ポルトガル代表選手の北京世界陸上事前キャンプの実施(大分市) (2015.8/6～18)
- ②フェンシングワールドカップグランプリ合同事前キャンプの実施(大分市) (2016.3/7～22)
- ③フェンシングワールドカップ・サマーキャンプの実施(日田市) (2016.8/31～9/9)
- ④フェンシングワールドカップグランプリ合同事前キャンプの実施(大分市) (2017.3/13～21)
- ⑤フィジー女子代表選手のワールドラグビー女子セvens事前キャンプの実施(大分市) (2017.4/12～18)
- ⑥日本、モンゴル代表選手のテコンドー合同キャンプの実施(宇佐市) (2017.7/17～26)
- ⑦フェンシングエベ・国際キャンプの実施(日田市) (2017.9/8～20)
- ⑧韓国代表選手のウエイトリフティング事前キャンプに実施(国東市) (2017.11/2～17)
- ⑨フェンシングワールドカップ無観観大会事前キャンプの実施(大分市)(2018.6/30～7.17)
- ⑩フェンシングエベW杯無観大会事前キャンプの実施(日田市)(2018.7/2～7.14)
- ⑪パラリンピック・パワーステディングラオス代表アジア・オセアニアオープン選手権事前キャンプの実施(別府市)(2018.8.31～9.7)
- ⑫パラリンピックパラバドミントンマレーシア代表事前キャンプの実施(中津市)(2018.9.1～7)
- ⑬ワールドラグビーセvensシリーズフィジー代表事前キャンプの実施(大分市)(2018.11/5～11)

⑩ プレ事前キャンプの積極的な受入の成果

継続的なプレキャンプの受入が実を結ぶ！！

協定書締結

東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプの協定書締結（5自治体5件）

- ①フェンシングサークル競技合同事前キャンプに関する協定書締結式(大分県・大分市) (2017.12/19)
- ②バレーボール・バレーフット・ラオス代表事前キャンプに関する協定書締結式(大分県・別府市) (2018.3/26)
- ③フェンシングエペ競技合同事前キャンプに関する協定書締結式(大分県・日田市) (2018.5/18)
- ④2020年マレーシアオリンピックチームの事前キャンプに関する協定書締結式(大分県・中津市) (2018.7/2)
- ⑤2020年東京オリンピックポルトガル陸上競技代表チームの事前キャンプに関する協定書締結式(大分県・大分市) (2018.10/4)



今後の取り組み

- 締結国のプレ事前キャンプの受入と事前キャンプの受入準備
- 事前キャンプ受入のための施設整備を改善
- これまで誘致活動した国が大分で事前キャンプ実施するか意向を確認
- 東京オリ・パラ競技大会終了後のレガシーとしてのスポーツ合宿誘致移行

⑪ レガシーとしてのスポーツ合宿誘致

東京オリ・パラ競技大会終了後、大分に何が残せるか？

「2002年FIFAワールドカップでカメルーンの事前キャンプを誘致した日田市(旧中津江村)」の大会終了後のスポーツ合宿の盛り上がりを見ることができるか？

レガシーづくり

これまでの取り組み

- ①スポーツツーリズムガイドの作成（ワンストップサービス）※資料⑫
- ②大分県スポーツ競技用具等整備促進事業 ※資料⑬
- ③東京オリ・パラ事前キャンプ誘致に関連したスポーツ合宿誘致
 - ・青山学院大学陸上競技部、法政大学重量挙げ部、GMOアスリート陸上競技部など
- ④スポーツ合宿についての市町村担当者研修会の開催 ※資料⑭

オリ・パラ事前キャンプのレガシー

- 構築されたキャンプ受入体制
- 充実した施設整備の有効利用
- 受入によるキャンプ地大分の情報発信
- 交流事業による競技普及や競技力向上



⑫ これまでの取り組み①（スポーツツーリズムガイドの作成）

大分スポーツ合宿ナビ

大分県内のスポーツ合宿をワンストップサービス！！

検索はウェブサイト <http://www.city.saga.lg.jp/sports/>

大分県スポーツ ツーリズムガイド

「スポーツ合宿をするなら大分県！！」

今、大分県が強い！！



（資料⑫）

⑬ これまでの取り組み②（スポーツ競技用具等整備促進事業）

- 中津市・永添運動公園⇒7人制ラグビー（コーナーフラッグ28本）
- 日田市・日田市総合体育館⇒フェンシング（アルミピスト1台、一体型審判器2台）
- 宇佐市・はちまんの郷宇佐体育館⇒デコンドー（マット3面）
- 国東市・アストくにさきアグリホール⇒ウエイトリフティング（プラットフォーム5台、女子用バー8台、スクワットスタンド6組、セカンドラック3組、男子競技用バー4本、公式競技用ラバーディスク30枚プラットフォーム3台）

これまでの取り組み③（東京オリ・パラ事前キャンプ誘致に関連したスポーツ合宿誘致）

- 青山学院大学春季大分キャンプ
 - ⇒大分スポーツ公園総合競技場及び周辺ロードコースで実施（2016年～2018年の3月、箱根駅伝4連覇中）
- 法政大学重量挙げ部⇒国東市ウエイトリフティング場で実施（2017年8月）
- GMOアスリートキャンプ
 - ⇒佐伯市総合運動公園陸上競技場及び周辺ロードコースで実施（2018年1月）



⑭ これまでの取り組み④（スポーツ合宿についての市町村担当者研修会の開催 2018.6.29）

- 参加者
 - 市町村オリ・パラ事前キャンプ、スポーツ合宿担当者
 - 県振興局スポーツ合宿担当者

○講演

- ①スポーツを通じての地域活性化（株式会社ササの井 代表取締役社長 角田英之氏）
- ②限界集落の小さな挑戦（竹田市久住町白丹地区 丸山生活改善センター運営委員 足立達哉氏）

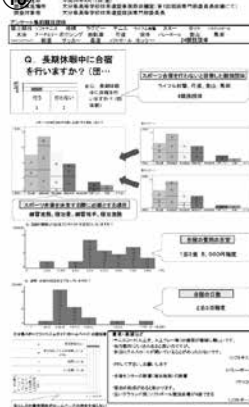
○報告

- ①デコンドー競技キャンプ宇佐について（宇佐市）
- ②韓国ナショナルチーム、法政大学重量挙げ部の合宿の受について（国東市）
- ③スポーツ合宿実態調査報告（大分県）※資料⑮

○意見交換会

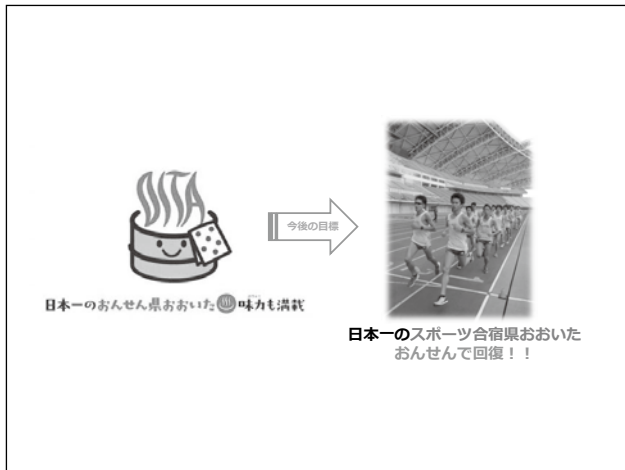


⑮ スポーツ合宿に関するアンケート集計（競技団体）



スポーツ合宿に関するアンケート集計（市町村）





シンポジウム

大分県民のスポーツの現状と課題



高体連の役割・取組・課題等について

蓑田 智通

大分県高等学校体育連盟 会長

大分県高等学校体育連盟は、大分県内高等学校体育の健全な発展を図ることを目的とし、学校体育の振興に関する調査、研究及び建議や体育大会及びその他体育に関する各種行事の開催等を主な事業としている。

また、高体連は県内公私立高等学校66校（全日37、定通5、分校3、私立14、特別支援7）をもって組織し、理事会、評議員会の開催や競技専門部（陸上競技他34競技）を置いて活動している任意の団体である。

運動部活動は、学校教育活動の一環として行われており、生徒指導も含め、学校教育の中で、大きな役割を果たしている。また、スポーツに興味関心を持つ生徒が、スポーツの楽しさや喜びを味わい、体力の向上や豊かな人間性の育成にも極めて効果のある活動でもある。

現在、少子高齢化や教員の多忙化、運動部活動のあり方など多くの課題が山積している中で、今回、スポーツ学会

に於いてスポーツ振興に関わる県行政をはじめ、県内のスポーツ活動に関わる方々が、一堂に会し、県民のスポーツの現状や課題について議論することは非常に有意義なことであり、高校生を取り巻くスポーツ環境が変化する中で、高体連の役割や取組、課題等について下記3点に絞り、お話をできればと思っている。

- 1 高体連専門部（35専門部）の存続
- 2 指導者の資質向上、確保及び育成
- 3 運動部活動のあり方（体罰の根絶、運動部活動の指導ガイドライン等）

今回、このような貴重なシンポジウムに参加させていただき、高体連の現状等お話しさせていただくことは、誠にありがたくお礼申し上げますと共に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

シンポジウム

大分県民のスポーツの現状と課題



「大分県民のスポーツの現状と課題」について

丸山 順道

SCおおいたネットワーク 会長

SCおおいたネットワークは、県内44の総合型地域スポーツクラブ全てが加入し、スポーツをキーワードとして、それぞれの地域において「健康づくり」「仲間づくり」「生きがいづくり」を目標として活動しています。県内の全市町村に一つのクラブが存在しています。

活動の主なものは、高齢者も含めた一般の方々が参加する各種教室、子どもたちの健全育成を主眼としたサッカーをはじめとしたサークル活動などを展開しています。最近では、障がい者も含めたユニバーサルスポーツを取り入れた教室や大会も実施を始めています。

しかしながら、その認知度は、まだまだ低く、県内の会員の総数は、約17,000名程と会員数は、徐々に増えているものの急激な増加とは言えません。スポーツ庁が示した「スポーツ基本計画」にあるスポーツ実施率の増加目標を達成するためにも、なお、一層の啓発活動が必要と考えています。

さて、現在のSCおおいたネットワークの活動ですが、

特に障がい者を含めたユニバーサルスポーツの普及について取り組んでいます。卓球バレーの指導者講習会を3年間実施しました。その結果、県内では、福祉施設において地域子ども達とともに卓球バレーの交流会を始めているクラブや高齢者の卓球バレーの教室を開設しており、その中でもぐもぐタイムを設けて、仲間づくりの場として「体の健康」だけでなく「心の健康」も更に地域コミュニティの活性化にもつながる活動と考えています。また、本年も実施する総合型クラブ交流会においては、スポーツ推進委員と連携したブースや県立看護科学大学と連携したブースを設けるなど、スポーツを核としてスポーツに関係する団体との連携を進められればと考えています。今後は、スポーツを核として関係する各種団体が健康や仲間づくりなど有機的に連携していく必要があるのではないかと思います。

それぞれの専門分野があることから、俗に言われる「餅は餅屋」でお任せしてうまく連携・協働できる組織の構築も必要性が問われる時なのかとも思います。

シンポジウム

大分県民のスポーツの現状と課題



「大分県民のスポーツの現状と課題」について

堀川 裕二

大分県障害者スポーツ指導者協議会 相談役（前会長）

2008年に行われた「第8回全国障害者スポーツ大会」から10年が経ちました。大会の数年前から13の正式競技（個人競技6、団体競技7）において選手強化が取り組まれ、大会ではそれなりの成果を残すことが出来ました。そして、大会に前後していくつかの競技において県単位の競技団体が設立され、競技の普及振興と強化育成を行って来ました。

10年が経過した今、全ての競技が上手く進んでいるわけではなく、殆ど活動がなくなってしまった競技もありますが、2020年の東京パラリンピックの実施が決定してからは、パラリンピック実施競技を中心に再び盛り上がりを見せつつあります。一部の競技ではジュニア層を中心とした選手発掘イベントや障害者スポーツ啓発イベントも頻繁に行わ

れていますが、パラリンピック実施競技に参加可能な障害者が限られた範囲であることは否めません。

そしてもう一つ、2011年のスポーツ基本法制定からの変化があります。50年振りに改正されたこの法律では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらずスポーツをする権利が保障されています。今まで障害者スポーツに関わる機会が少なかった市町村のスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブの皆さんが、障害者スポーツの入口として、誰もが参加出来るユニバーサルスポーツに関心を深めて来ています。そんな中で、国内外で特に注目されているのが、大分大会でオープン競技として行われた卓球バレーです。



第8回全国障害者スポーツ大会・オープン競技「卓球バレー」決勝

シンポジウム

大分県民のスポーツの現状と課題



「大分県民のスポーツの現状と課題」について

森 誠一
大分県議会議員

1961年、東京オリンピック開催前に「スポーツ振興法」が制定され、その後のスポーツ人口の増加や国際化など社会状況が変化する中で、2011年には振興法が全面改正され「スポーツ基本法」を施行。2012年にはスポーツ基本計画が策定され、2020年のオリンピックパラリンピックなど将来を見据えた計画が掲げられた。

また、2015年にはスポーツ庁が設置され、複数の府省にまたがるスポーツ行政が一元化され、健康増進、地域活性化、競技力向上など多様な施策の実施が可能となったとされている。

一方、地方行政におけるスポーツ施策を見ていくと、2004年文部科学大臣は中央教育審議会に「地方分権時代における教育委員会のあり方」について諮問。教育制度分科会では特に「首長と教育委員会との連携の在り方」についての議論がなされ、「スポーツ政策を教育委員会だけで所管することは困難である。」とし、これらの議論を受けて、2007年の中央教育審議会の答申では「教育委員会の所掌事務のうち、学校における体育を除くスポーツに関する事務は、地方自治体の判断により、首長が担当できるものとす

る。」とされ、答申を受けて、法改正が行われ、スポーツ行政の管理執行を首長に移管することが可能となった。

スポーツを学校教育・生涯学習といった分野から発展させ、例えば観光振興などのまちづくり分野と連携する体制構築を行う自治体が増加しており、都道府県では、平成28年度、教育委員会から知事部局への移管は53.2%となっている。

また、平成29年から大分市では「大分市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例」を改正し、「スポーツに関すること（学校における体育に関することは除く）は、市長が管理し、及び執行するものとする。」とし、企画部が所管することとなった。

本年3月に制定された大分県スポーツ振興条例では県民の誰もが、それぞれのライフステージに応じて、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を味わいながら、健康で活力ある豊かな生活を営むことのできる大分県の実現をめざすとしている。大分県としてスポーツ行政について将来に向けてどのような姿勢で取り組んでいくのか、皆さんと議論させていただきたい。

一般演題発表 セッション I

10週間のバドミントン練習が
女子大学生の身体組成、体力、骨密度に
及ぼす影響について

○吉村 良孝、佐藤 亜美

別府大学 食物栄養科学部 食物栄養学科

スポーツメディカルチェックで
発見した高脂血症の例○清永 康平¹⁾ 2)、平川 史子¹⁾、松田 貴雄²⁾

1) 別府大学大学院 食物栄養科学研究科

2) 独立行政法人国立病院機構 西別府病院 スポーツ医学センター

【目的】

本研究の目的は、10週間のバドミントンの練習が女子大学生の身体組成、体力、骨密度に及ぼす影響について検討することである。

【方法】

対象者は特に運動習慣のない健康的な女子大学生9名、測定項目は、身体組成、体力・骨密度測定を行なった。練習内容は、1回の練習を75分とし、週に2回行った。練習期間は10週間であった。

【結果】

練習期間前後で有意な差が認められたものは、SOS、握力右、閉眼片足立ち時間であった。

【考察】

握力右と閉眼片足立ちが有意な高値を示した要因としては、全員右利きでラケットを右手で握っていたこと、コート内をフットワークで移動し、素早い動きが必要となり、体重移動やバランスの維持が要求されることが考えられた。骨密度のSOSに影響を及ぼした要因としては、練習中の踏み込みによる足底への衝撃負荷が考えられた。バドミントン練習は若年者の骨密度を高める運動として適しているのではないかと考えられた。

【はじめに】

メディカルチェックにおいて前年度と比較して著しい高脂血症を認め、男性ホルモンの低下が見られた症例を経験したので報告する。

【症例】

34歳男性 競技：競輪

以前に練習にて落車、頭部外傷の既往がある。メディカルチェックの際、脱力感を訴えていた。総コレステロールが314mg/dL（昨年213）と高値を示し、総テストステロン値78.4ng/dL（昨年326.9）と著しい低下があった。甲状腺機能異常を疑ったが、HOMA-R2.96とインスリン抵抗性が確認された。メトホルミン投与にて総コレステロール236mg/dL、総テストステロン424.6ng/dLと改善し、脱力感が消失し、競技成績も改善した。

【考察】

アスリートは体調不良があっても、練習が足りないなど疾患に結びつけて考えない傾向にある。メディカルチェックを定期的に行い、体調管理に役立てることを勧める。

一般演題発表 セッション I

スポーツ整形外科における「管理栄養士によるスポーツ栄養サポート」の可能性
ー成長期スポーツ選手への介入に着目してー

○寺山 絵未、高司 博美、大場 俊二 (MD)

医療法人 大場整形外科
大分スポーツリハビリテーションセンター

【目的】

当院は2013年より、管理栄養士による栄養サポートを運営している。

今回、「成長期スポーツ選手への栄養サポート」の取り組み・結果・現場での課題をまとめたので報告する。

【対象・方法】

2013年11月～2018年10月の約5年間、当院にて疲労骨折の診断を受けた、または医師や理学療法士により介入が必要と判断した成長期スポーツ選手を対象に、栄養アンケートを実施。管理栄養士が10分の無料相談・レクチャーを行い、希望があれば予約制の有料サポートとして継続した。

【結果・考察】

アンケートによる介入を行い、年間平均約230件のスポーツ栄養相談があった。

しかし今回の実践では、有料サポートを受けた対象者のほとんどが情報提供のみ、または家庭の事情や、治療の通院期間終了を背景に継続困難となるケースが目立った。

外来通院は保護者との来院も多く栄養サポートに適した環境であり、さらにフォロー体制を強化していきたいと考える。

サプリメント分析認証プログラムの比較検討

○伊藤 英明¹⁾、松尾 成真¹⁾、河村 聡志¹⁾、
中島 美紀¹⁾、首藤 典利²⁾、山田 雅也¹⁾、
莊司 一茂¹⁾、佐藤 英隆¹⁾、友成 朗¹⁾、
安東 哲也¹⁾

公益社団法人 大分県薬剤師会

1) 学校保健・体育委員会、2) 薬事情報室

【目的】

JADA以外でも成分分析を行いメーカー独自に禁止物質が含まれていないことを認定していたり、第三者機関で認定を行ったりしているサプリメントもあります。

そこでサプリメント分析認証プログラムについて内容の比較検討を行ったので報告する。

【方法】

JADAサプリメント分析認証プログラム以外で把握している①INFORMED-CHOICE、②TSPプログラム、③FQSCマーク、④BSCG、⑤ドーピングガードについて、ホームページ及び問い合わせを行い、検査対象の物質数、検査頻度を比較した。

【結果】

検査対象の物質数と検査頻度は以下であった。

- ①160品目、認証取得時と毎月1回ランダムで抜き取り分析を実施
- ②485品目、認証取得時
- ③25品目、認証取得時と毎回の生産時
- ④485品目、認証取得時とロット毎
- ⑤99品目、認証取得時

【考察】

どれもドーピングにならないことを100%保証するものではないが、このような認証がサプリメントを選択する際の一つの条件とできる可能性がある。

一般演題発表 セッション I

別府大分毎日マラソンに出場して
～選手目線から見た救護対策法～○川崎 徹也¹⁾、森口 奏相²⁾

独立行政法人国立病院機構 別府医療センター

1) 臨床工学技士（認定救護員）

2) 救急看護認定看護師（認定救急ナース）

別府大分毎日マラソン大会は今年で第67回大会を迎えた。オリンピック日本代表選手選考競技会でもある大会である。第60回大会（平成23年）から一般市民ランナーも参加できるようになった。日本全国や世界から約3400人が集結し、市民ランナーとしては憧れの舞台である。公認の一般マラソン大会で3時間30分切らないと出場権をもらうことができない。今回2回出場していずれも完走したが、出走中様々な光景を見て救急車のサイレンが何度も鳴り、歩道で倒れているランナーを何人も見た。認定救護員であったが選手でもあり何もできなかった。一般マラソン大会では救護ランナーはいるが、大きな大会となると救護ランナーがいない。特にマラソンはいつ心肺停止になるかわからないスポーツである。ランナーで救護する知識や力走できる救護員は少ないが、大きな大会でも救護ランナーが必要であると思われる。今回、選手目線から見て思ったことを紹介したい。

皮下脂肪と内臓脂肪の違い

○島田 達生¹⁾、安東 鉄男¹⁾、千葉 政一²⁾

1) 大分医学技術専門学校

2) 大分大学医学部分子解剖学

肥満は、エネルギー摂取と消費のアンバランスにより体内の過剰な脂肪組織が蓄積した状態であり、蓄積する部位により皮下脂肪と内臓脂肪に分類される。

皮下脂肪組織は保温、クッション、水分の貯蔵庫として重要な役割をはたしている。内臓脂肪組織は、代謝活性が皮下脂肪よりも高く、脂肪合成も分解も速やかに行われると言われている。一般に、皮下脂肪よりも内臓脂肪の蓄積の方が心血管疾患発症に密接に関わっていることは明らかである。しかしながら、皮下脂肪組織と内臓脂肪組織の形態的差異を調べた研究は、極めて少ない。

本研究は、C57BL正常マウスとKKAy肥満マウスを使って、皮下脂肪細胞と内臓脂肪細胞の立体像を提供する走査電子顕微鏡下で両者の形態差異を調べる。さらに、最近注目されている異所性脂肪の心臓における分布と形態を調べ、その意義についても考察する。

一般演題発表 セッションⅡ

学校部活動は必ず存続させなくては
ならない—スポーツ社会学からの「警鐘」

○谷口 勇一

大分大学 教育学部

「働き方改革」の時世、教育界においてもまた、その流れには抗えそうもない。教員の過重労働の改善は必須であるものの、その原因を部活動にのみ向けられては困る。部活動は世界に誇るべきわが国の教育制度である。わが国におけるスポーツの普及は部活動の存在なしには語れない。部活動というスポーツを通じた教育機会は、生徒たちの良好な心身の発達、そしてまた、教師たちの「成長」にも大きく貢献してきたことを看過してはならない。

スポーツ庁は、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(2018)を発表した。そこでは、活動日数・時間等の軽減が掲げられ、本県においても概ね順守する形で事が進められつつある。それはよい。但し、教員の「働き方改革」を契機とし、部活動の脱学校化の企みが見え隠れする点がスポーツ社会学的には見逃せない。教育における部活動の存在意味に鑑みつつ、スポーツ庁の動向を批判的に検討してみたい。

障害者支援施設<にじ>における
社会的行動障害に対する集団競技の
効果について

○福澤 至、古本 節子

別府リハビリテーションセンター 障害者支援施設<にじ>

【背景】

障害者支援施設<にじ>は、高次脳機能障害による社会的行動障害を有する利用者に、「卓球バレー」を用いた集団訓練を実践している。その効果について考察を加え報告する。

【取り組み】

<にじ>は、脳卒中や頭部外傷の後遺症者の自立訓練、就労移行支援を実践している。2017年9月より、社会的行動障害や重度の身体障害を有する利用者を対象にした「卓球バレー」の時間を設定した。

【結果】

開始から2回目以降の「卓球バレー」の時間において、社会的行動障害を有する数名の利用者の行動に、社会性が向上した変化を認めた。

【考察】

卓球バレーは競技スペースや自分の守備する範囲が明確で、安心して参加しやすい特性がある。さらに集団競技で快刺激を得た後は、参加を継続するために「社会性を保たねばならない」という適応的な変化が生じやすいと推察している。社会的行動障害に対し、集団競技が社会性の向上に効果的な面がある事を示唆したと考える。

一般演題発表 セッションⅡ

運動教室が高齢者の認知機能に
及ぼす影響について

○佐藤 亜美、吉村 良孝

別府大学 食物栄養科学部 食物栄養学科

【目的】

本研究の目的は、地域の高齢者を対象に行った月1回の運動教室が、認知機能に及ぼす影響について検討することである。

【方法】

対象者は、地域在住の高齢者16名である。運動教室は月に1回の頻度で行い、全部で9回実施した。運動内容は、ラダートレーニング、マルチタスクトレーニングが中心であった。

【結果】

MMSE-Jの得点で、27点以上群と27点未満群に分けて検討した。その結果、介入前の両群の得点で有意な差が認められ、介入前後では、27点未満群の得点が介入前と比較して介入後に有意な高値を示した。

【考察】

本研究の結果より、月に1回という少ない頻度であっても、運動の介入が認知機能へ影響を及ぼすことが示唆された。軽度認知障害の疑いのある高齢者に対する地域での関わりが、認知機能の低下を予防する可能性があるのではないかと考えられた。今後もこのような活動を継続して行うことが重要であると思われた。

足関節・足部スポーツ傷害の
アスレティックリハビリテーション

○高司 博美

医療法人 大場整形外科

足関節捻挫・靭帯損傷はスポーツ外傷の中で特に多い疾患で、後遺症や二次的な障害も起こりやすく、アスレティックリハビリテーションは必須と考えられる。

炎症がおさまり次第、足関節のストレッチ、筋力トレーニング、足趾タオルギャザーによる固有受容覚への機能回復訓練を行う。併行して患部外トレーニングも行う。その後、テーピングやサポータで靭帯を保護した上で、バランストレーニング、スポーツ復帰へと進めている。

スポーツ障害として多いのが中足骨疲労骨折である。確定診断がついたら、足底板を装着し、アーチ機能や足関節の機能を改善し、障害につながる個体要因を改善し、スポーツ復帰へと進めている。疲労骨折に関しては、管理栄養士の栄養アドバイスも行い、早期治癒、再発防止につなげている。

スポーツ傷害に対し、より良い状態で復帰できるよう、また患者のニーズに応じていくための当院での取り組みも報告する。

一般演題発表 セッションⅡ

発達運動学的視点からの 「こどもの体幹トレーニング」 ～赤ちゃんの動作で、 体の支えと動きの土台を強くする～

○西原 清

宇佐整骨院

ヒトの運動能力の発達は、乳児期の仰臥位から立ち上がるまでに体幹や四肢の姿勢や動きの「基本機能」を獲得し、幼児期に「基本動作」や「複雑な動作」を習得する。更に学童期では「複雑な身体活動」を習得しスポーツなどの複雑な運動が可能となる。しかし社会環境や生活環境などの変化により、乳児期の「基本機能」の獲得や幼児期の「基本動作」の習得に不足が生じており、このことがこどもの運動能力を低下させることに大きく関連している。

そしてこどもの運動能力の改善を目的として多くの取り組みが行われている。そのひとつとして幼少期からスポーツを行うことで解決しようとすることも進められているが、運動能力の改善の為に発達過程で不足している「姿勢や動きの基本機能」や「基本動作」などを、スポーツ競技以外の適切な運動で補うことの必要性を認識すべきであると考え。

筆者はこのような考えを基にして、長年こどもの運動能力の改善を目的にした体づくりの指導に取り組んでいる。指導内容としては①動くために重要な体幹や四肢の質の良い「支持」の習得を目的とした、赤ちゃんが仰臥位から立ち上がるまでの動きを再現した赤ちゃんトレーニング（以下赤ちゃんトレーニング）②体幹トレーニング③コーディネーショントレーニング④他のトレーニングなどを行っている。

赤ちゃんトレーニングの理論背景は、DNS（動的神経筋安定化）やJCCA（日本コアコンディショニング協会）の発育発達のメソッドやPRIによる呼吸の要素などを考慮して、発達運動学的に支持点や姿勢や動きなどのポイントを指導している。そして効果を上げる為には、腹部・胸部の安定性の向上が非常に重要であり、このことは骨盤・胸郭・脊柱・四肢の連動した支持や可動性を含め、運動能力を改善させる効果に非常に大きく影響する。

本報では赤ちゃんトレーニングの概要と腹部・胸部の安定の重要性について紹介する。

大分県スポーツ学会認定スポーツ救護 ナース・救護員養成システムの現況

○栗秋 良子、小副川 直子、佐藤 浩二、
森 照明

社会医療法人敬和会 大分岡病院

【目的】

我々は2010年に一般社団法人大分県スポーツ学会を設立し認定スポーツ救護ナース・救護員を養成し、スポーツ現場に派遣してきた。2年後にオリパラを控え、スポーツ救護養成が喫緊の課題となっている。我々の養成システムの現状を紹介する。

【方法】

本講習会は、今期から2日間連日15時間のプログラムでとした。救護に必要な実践知識と手技及び日赤の救命救急基礎講習で構成されている。試験合格後、スポーツ現場に派遣、年一回スキルアップ研修会も実施している。

【結果】

2017年第8期生までに計731名を養成、29年度の派遣依頼は39団体219名を派遣した。平成25年4月から平成30年3月までの派遣総延人数は1534名である。

【考察】

スポーツ全般の知識を修得し、救護の適切な判断処置が出来る人材を育成する、夢と展望のある本システムをさらに発展させたいと考えている。

ポスター発表

スポーツ救護活動における 看護師としての関わりの検討

○小原 優希

大分県スポーツ学会認定 スポーツナース
日本健康運動看護学会認定健康運動看護師

【目的】

救護日誌を用いてスポーツ救護活動を具体化し、看護師の役割を考察する。

【方法】

- ①救護日誌を作成し実際に活用することで、活動を具体化する。
- ②日本健康運動看護学会認定健康運動看護師を取得し、看護の視点から現状と今後の課題を考察する。

【結果・考察】

現状の派遣救護記録は、派遣場所、競技団体名、競技種目、救護内容と大きい項目だけであった。救護日誌を作成することで現場の状況や対象の情報など詳細に記載され、振り返る際にわかりやすくなった。また健康運動看護師の資格を取得することで、看護師として、対象の発達段階や健康レベルを考慮した関わりができるようになり、日誌からも看護がみえるようになった。しかし、事前のアセスメントや活動中の記録など記述欄が増えたことで負担が増大している。そのため今後は、誰もが活用できるようなパスを作成し、派遣救護記録をツール化することで負担軽減と効率化を検討していきたい。

若年アスリートの胸郭出口症候群に おける短期術後成績

○西崎 武文¹⁾、馬見塚 尚孝²⁾、稲葉 壘希¹⁾、
藤原 崇光¹⁾

独立行政法人国立病院機構 西別府病院
1) リハビリテーション科、2) 整形外科

【目的】

若年スポーツ選手の胸郭出口症候群に対する第1肋骨切除術および内視鏡下神経剥離術の手術成績を明らかにする。

【方法】

平成28年4月から平成30年8月までの期間に、当院で胸郭出口症候群の診断にて第1肋骨切除術および内視鏡下神経剥離術を施行した若年スポーツ選手13例（平均年齢：17.3歳）を対象とした。競技の内訳は野球が10例、水泳1例、ソフトテニス1例、器械体操1例であった。調査はThe DASHを用いて術前と術後の比較を行った。また、アンケートにて治療満足度を調査した。

【結果】

術前の状態と比較し、症状、生活動作、競技レベルともに改善が認められた。治療満足度も概ね高い満足度が得られた。

【結論】

若年スポーツ選手の胸郭出口症候群に対する手術療法が有効であることが示唆された。今後は症例数の蓄積、保存療法との比較などが必要である。

ポスター発表

本校の障がい者スポーツへの 取り組み紹介

○日隈 武治、後藤 英子、矢野 高正、
首藤 小春、吉岡 恭介、岩田 美沙都

大分リハビリテーション専門学校 作業療法士科

【はじめに】

本校は障がい者スポーツ論を履修科目とし、障がい者スポーツ指導員初級指導員を取得できる。今回、障がい者スポーツへの関わり紹介と卒業生の取組状況を報告する。

【紹介】

当該教科は、平成24年度より取入れ、平成29年度に単位履修科目に位置づけた。内容は講義と実技で構成している。

【対象】

卒後4年未満の95名とした。

【方法】

アンケート方式で調査し、「現在の障がい者スポーツへの関わり」や「資格更新」などの7項目とした。

【結果】

障がい者スポーツ活動をしていない者は73名（98.6%）、初級指導者の資格更新をしていない者は65名（87.8%）。今後、障がい者スポーツに関わりたい者は58名（78.4%）であった。

【考察】

障がい者のスポーツは、競技や生涯スポーツとして生活の質向上を期待する貴重な参加である。調査で、「今後、関わりたい」等が過半数となり、今後、活動の機会が広がる取組をしたい。

障がい者スポーツへの 関わりと今後の展望

○宮野 元樹

公益社団法人 大分県理学療法士協会
医療法人恵愛会 中村病院

大分県では障がい者スポーツ競技が盛んに行われているが、公益社団法人大分県理学療法士協会（以下、PT協会）のこれまでの関わりとして、健常スポーツと比べるとサポート件数やそれに関する研修も少なく、体制としても整備されていないのが現状である。

現状を打開すべく、PT協会員向けの研修会や障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催し、情報発信を継続していくことで協会員の関心を高め、機運醸成を図っていきたい。また、協会内での障がい者スポーツ部門の整備を行い、中・長期的な計画性を持って障がい者スポーツに対応できる人材育成と人材派遣システムを構築していきたいと考える。

我々の活動がスポーツを通じて、少しでも障がい者の健康維持・増進だけでなくQOLの観点から自立支援や社会復帰への支援に繋がれば幸いである。そして、障がい者が安全にスポーツを楽しめる環境づくりに向けてのサポートを他団体と協力しながら取り組んでいきたい。

ポスター発表

5 回スポーツ研修会 活動報告

○大津留 聖太、古澤 朋佳、小松 由佳、
後藤 英子

公益社団法人 大分県作業療法協会 学術局 学術研修部

作業療法士は、「作業」を支援や目標達成の手段として提供することでその人らしさを引き出し、「人と人」を結び、場を作り、地域生活へとつなぐ専門職である。本事業は、作業療法士自身が体験を通してスポーツを対象者の健康増進や「活動」と「参加」の支援手段として活用できるようになることを目的に平成26年度より実施している。

今年度は昨年度に引き続き、障がい者スポーツについての講義とボッチャ、ツインバスケットボールの体験を行った。これらを通して、心身機能、活動能力、そして社会参加の維持に有効なユニバーサルスポーツを実行するための環境調整を支援することで、その後の人生や生きがいにつながる様々な可能性を広げることができることを実感できた。

今後は、「こころとからだのリハビリテーション」を行う専門職としてスポーツを実際に参加の支援に用いる段階を目指して、本事業を更に充実したものにしていきたいと考える。

小学生における運動部・スポーツクラブ所属の有無と体幹保持機能との関係

○河野 吉喜¹⁾、東恩納 玲代²⁾、高司 博美¹⁾、
大場 俊二¹⁾

1) 医療法人 大場整形外科

2) 名桜大学

【目的】

本研究では、小学生を対象として運動部・スポーツクラブ所属の有無と体幹保持機能との関係を検討することを目的とした。

【方法】

対象者は、平成30年に大分県の公立小学校に在籍する小学4年生から6年生までの282名とした。体幹保持機能は、フロントブリッジ、サイドブリッジ、バックブリッジの保持時間を測定した。

【結果】

年齢とローレル指数を調整し、運動部・スポーツクラブ所属の有無で体幹保持機能を比較した。男女ともにサイドブリッジ（男性： $p<0.01$ 女性： $p<0.01$ ）とバックブリッジ（男性： $p<0.05$ 女性： $p<0.05$ ）は運動部・スポーツクラブ所属者が有意に高い値を示した。

【結論】

運動部・スポーツクラブ所属者は無所属者と比較してサイドブリッジおよびバックブリッジの保持機能が高かった。

ポスター発表

スポーツ障害予防の取り組み ～メディカルマネージャー制度を大分県 から全国へ～

○伊東 健太、藤野 毅、中村 友、川野 達哉、
相馬 大樹、大場 俊二

医療法人 大場整形外科
大分スポーツリハビリテーションセンター
一般社団法人 大分県スポーツ学会

【目的】

メディカルマネージャーとは、スポーツ障害を防止することを目的として、選手の健康管理、指導者やコーチのサポート、スポーツ現場と医療機関との橋渡しをすることを役割としている。保護者を始め、医療関係者や監督・コーチなど幅広い方を対象としている認定資格である。

【方法】

大分県サッカー協会、大分県スポーツ学会会員および大分県体育協会加盟競技団体を主な対象とし、Mマネの説明・案内を送付し講習会を行った。また、スマートフォンやタブレット端末にて簡易的に入力することの出来るシステムを今年度より本格的に運用していく。

【結果・考察】

スポーツ障害を防止するために医療関係者やトレーナーなどが多くかかわってきている昨今、いまだ小中学校などには障害予防の取り組みがなされていないのが現状である。そこに、このMマネ制度を導入することで、医師やトレーナーがいなくても、ある程度のスクリーニングができ相談ができるシステムになれば、スポーツ現場と医療機関との橋渡しになるのではないかと期待する。

当院における腰椎疲労骨折と 腰椎分離症の発症率の比較

○石田 直也、藤野 毅、大場 俊二

医療法人 大場整形外科

【はじめに】

成長期腰部スポーツ障害として、腰椎疲労骨折（以下LSF）が代表疾患としてあげられ腰椎分離症へ移行する。そこで、腰痛を主訴に当院を受診したスポーツ選手の中で、LSFと腰椎分離症の割合について検討した。

【対象】

2015年4月から2017年3月までの2年間に腰痛を主訴に当院を受診した成長期（18歳以下）の患者736例（平均年齢：14.3歳）を対象とした。

【結果・まとめ】

成長期の腰痛患者の中でLSFを疑い理学所見や、単純X線所見からLSFを疑いMRI検査を行ったのが539例、そのうちLSFと診断したのが255例（34.6%）であり、47例（6.4%）が腰椎分離症へ進行していた。また、MRI検査を行っていない腰椎疾患198例のうち、腰椎分離症は17例（2.3%）であった。結果より、今回のLSFと腰椎分離症の患者の特徴について報告する。

ポスター発表

大分県立看護科学大学「健康増進プロジェクト」の活動について

○稲垣 敦

大分県立看護科学大学

前身の「野津原プロジェクト」は開学の翌年1999年に生まれ、地域における健康増進システムの確立を目指して、健康増進に関する研究と地域貢献活動を行ってきた。野津原町や姫島村の研究（厚生労働省、慶應大）、脳卒中患者用の電気刺激装置（東九州メディカルバレー）、大分空港施設改善（大分県）、保健師活動支援システムや高齢者用機能食品（ヤクルト）を研究開発した。また、介護予防運動「お元気しゃんしゃん体操」（大分市）、「めじろん元気アップ体操」（大分県）を開発・指導し、介護予防運動指導者や体力チェックサポーターを養成した。さらに、森林セラピーロード（大分市）や森林セラピートレイルランニング大会運営に協力し、森林歩行の効果検証実験や車椅子用の「森のセラピーロード」（大分県）に協力した。このほか、学生と県内30箇所以上に伺い、毎年3,000名以上の健康・体力チェックを実施してきた。

スポーツ救護ナース・救護員派遣調整の現況

○小副川 直子、栗秋 良子、佐藤 浩二、
森 照明

社会医療法人敬和会 大分岡病院

【目的】

一般社団法人大分県スポーツ学会はスポーツ救護ナース・救護員養成、派遣システムに取り組んでいる。派遣調整については兼任業務や、煩雑な調整作業などが課題であった。今回、派遣システムを改良し、さらに迅速、効率化された現況を報告する。

【方法】

派遣募集について、2015年12月よりメルマガによる募集を開始した。翌年4月に学会ホームページをリニューアル、その後メルマガと応募フォームを連動し、システム化した。

【結果・考察】

メルマガについて初回配信時は24.0%の認定者へ配信した。システム改良を経て2018年には70.4%に増加した。救護派遣についても、募集人数は前年比152%で増加し、派遣調整率は96.1%と高水準を保っている。

本養成、派遣システムは、現場から好評を得ており今後もスポーツ救護の需要は増えると予測している。本システムもさらに作業の効率化と生産性の向上を図り、貢献したいと考えている。

ポスター発表

2泊3日の高地野外活動を通じた学生の 心理、行動の変化 データマイニングによる評価

○小池 貴行、岡内 優明、前田 寛

大分大学 理工学部 福祉メカトロニクスコース

【緒言】

本研究では、本学開講のスポーツ文化科学「キャンプの理論と実践」を履修した学生28名の野外活動を通じた心理・行動の変化を定量かつ定性的に検証した。

【方法】

本科目は8月下旬に九重町飯田高原にて2泊3日で行われ、学生らは7名ずつ班に分かれ自らテント設営、調理、後片付け等の運営を行った。中日には牧の戸峠から中岳へ登山をした。これら活動を経た心理状態の調査では、SD法に基づき心理印象を表す形容詞とその対義語からなる34項目に回答させ、その後、主成分分析（PCA）により主な変化があった項目を抽出した。また、本科目の最後にキャンプで得た事を文章で回答させた後、各文章の趣旨を基に複数のカテゴリーに分けた。

【結果と考察】

PCAから「心身の活発化」が、カテゴリーから「仲間との協力」、「主体性」、「不便さ」が主に挙げられた。この結果から、学生らは、不便な状況でも仲間と協力して行動すれば乗り越えられることを体得したと考えられた。

名 義 後 援

大分県教育委員会

公益財団法人 大分県体育協会

一般社団法人 大分県医師会

公益社団法人 大分県看護協会

公益社団法人 大分県薬剤師会

公益社団法人 大分県栄養士会

公益社団法人 大分県理学療法士協会

公益社団法人 大分県作業療法協会

公益社団法人 大分県柔道整復師会

一般社団法人 大鶴歯科医師会

一般社団法人 大分県サッカー協会

大分県障害者スポーツ指導者協議会

独立行政法人 国立病院機構 西別府病院

社会医療法人敬和会 大分岡病院

大分スポーツリハビリテーションセンター

大分合同新聞社

OBS大分放送

TOSテレビ大分

OAB大分朝日放送

NEC歩行・立ち姿勢測定システム

好評取り扱い中！！

※NECソリューションイノベーター社製

- 1 3Dセンサーに向かって歩くだけで「歩行時の姿勢」を測定
身体にマーカーなどを身に付けず、3Dセンサに向かって歩くだけで、簡単に測定可能
- 2 歩行測定結果は年齢と性別に応じた基準点で点数化
※株式会社アシックス スポーツ工学研究所開発の歩行姿勢評価基準に基づき算出
- 3 歩行測定過去データを利用した身体の変化を確認
- 4 直立した状態で肩、腰など体の歪み「立ち姿勢」を測定



Copyright © NEC Solution Innovators, Ltd. 2014-2017. All rights reserved.

お問い合わせ先

テレビ宮崎グループ

株式会社システム開発 大分支社

〒870-0025

大分市顕徳町1丁目14-1河邊ビル103

TEL097-538-6163



AIR SALONPAS

スポーツ時の
筋肉痛、筋肉疲労に



Hisamitsu®



ジェット噴射で、冷却力アップ 微香性で、においダウン

エアースロンパス®ジェット^α

筋肉痛・筋肉疲労に 第3類医薬品

※当社エアースロンパスEX比

◎この商品に関するお問い合わせは、久光製薬お客様相談室へ。 ☎ 0120-133250
受付時間／9:00-17:50(土日・祝日・会社休日を除く) www.airsalonpas.jp





株式会社 **オリエンタル歯科器材**
HENRY SCHEIN®

本社	大分市今津留3丁目16-18	〒870-0938	TEL 097(558)7507	FAX(551)5731
福岡支店	福岡市博多区東光寺1丁目25-18	〒816-0096	TEL 092(436)7230	FAX(436)7231
北九州営業所	北九州市八幡西区丸尾町12-12 グリーンコート101号	〒807-0826	TEL 093(692)5899	FAX(647)5811
延岡営業所	延岡市緑ヶ丘3丁目6-9	〒882-0863	TEL 0982(35)0531	FAX(35)0705
熊本営業所	熊本市東区昭和町1-19	〒861-2108	TEL 096(360)7008	FAX(360)7018
長崎営業所	諫早市貝津町828-1	〒854-0063	TEL 0957(25)4362	FAX(25)4542
宮崎営業所	宮崎市恒久4丁目8-3	〒880-0913	TEL 0985(64)0975	FAX(64)0958
鹿児島支店	鹿児島市草牟田2丁目3番5号	〒890-0014	TEL 099(248)8620	FAX(248)8630

感動を、シェアしたい。

やりきること。挑戦すること。諦めないこと。
そして、地域の皆さまやお客さまと、
その発展・成功を共に喜び、
「大分銀行で良かった」と感動して頂くこと。
それが私たちの、感動です。

大分銀行 明野支店



まだないくすりを
創るしごと。

www.astellas.com/jp/

明日は変えられる。

astellas
アステラス製薬株式会社



関節機能改善剤

(処方箋医薬品) 注意—医師等の処方箋により使用すること
日本薬局方 精製ヒアルロン酸ナトリウム注射液

アルツ® 関節注25mg
アルツ® ディスポ® 関節注25mg

- 薬価基準収載
- 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む
使用上の注意等については添付
文書をご参照ください。

ARTZ®
ARTZ Dispo®

(製造販売元) **生化工業株式会社**
東京都千代田区丸の内一丁目6-1

発売元〔資料請求先〕

科研製薬株式会社

〒113-8650 東京都文京区本駒込2丁目28-8

医薬品情報サービス室

(2016年9月作成) ARZ04GK

漢方医学と西洋医学の融合により、世界で類のない最高の医療提供に貢献します



<http://www.tsumura.co.jp/>

●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

バイオでしか、
行けない
未来がある。

すべての革新は患者さんのために

 **中外製薬**

 ロシュ グループ

創造で、想像を超える。

歯科材料・歯科器械ディーラー

fd

フォルディ株式会社

「そう、そう！
これが欲しかった。」
そんな歯医者さんのお悩み、解決します。

フォルディ株式会社 歯科医院・歯科技工所を中心に医療機器ならびに歯科材料の販売（左記器材の保守・修理業務（専任担当者））
各種セミナーの開催／歯科医院でご使用になる備品等の販売／開業・改装・移転等のお手伝い

大分営業所 〒870-0848 大分市賀来北1-17-7 TEL 097-549-0588 / FAX 097-549-2070
宮崎営業所 〒880-0035 宮崎県宮崎市下北方町下郷 6066 時任ビル 1F TEL 0985-24-7034 / FAX 0985-27-0282



ドーピング禁止薬についての質問は、 薬剤師会にお問い合わせ下さい！

日本アンチ・ドーピング機構の認定薬剤師
スポーツファーマシストがお答えします。

【問い合わせ先】
大分県薬剤師会 薬事情報室
TEL：097-544-9512
FAX：097-544-8060



公益社団法人大分県薬剤師会

Creating for Tomorrow

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、
より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、
次の時代へ大胆に挑戦していくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

AsahiKASEI

旭化成ファーマ株式会社

URL:<http://www.asahikasei-pharma.co.jp>

会員へのお知らせ

「スポーツおおいた」投稿規定

1. 「スポーツおおいた」は、一般社団法人大分県スポーツ学会の機関誌であり、県民の健康とスポーツ振興に関する研究発表とスポーツ全分野の方々の情報交換と人材育成を目的とする学術誌であると同時に連絡誌を兼ねる。
2. 本誌への投稿論文の主著者は、本会の会員に限る。
3. 投稿の採否は、2名の校閲者の査読をうけた後、学会誌編集委員会に於いて決定される。また、原稿内容について修正を求めることがある。
4. 研究内容や方法が倫理的に不適切であると編集委員会が判断した場合、受理しないことがある。
5. 本誌には原著、総説、短報、学術集会記録、寄書、随想、書評、グラビア、役員会記録、総会議決、名簿等を掲載する。
6. 原稿は、要旨、キーワード（5語以内）、序文、材料と方法、結果、考察および文献の順に並べる。図・表およびそのリジエンドはテキスト原稿の後に添付する。
7. 頁（最初の頁）には、表題、著者名、所属、ランニングタイトル（25字以内）、原稿の枚数、図・表の枚数と、投稿責任者の連絡先（氏名、所属、郵便番号、住所、電話番号、Fax番号、電子メールアドレス）を記す。
8. 短報、寄書、随想は刷り上がり2頁以内とする（字数に関しては、第11項参照）。掲載料は無料とする。
9. 原稿はワードプロセッサを用い、A4版用紙に（ダブルスペースで）横書きとする。和文の場合、常用漢字を用いる（句読点は、「、」と「。」を用いる）。本文中の原語、数値、単位、引用文献番号などの英数字にはカッコを含めて半角文字を用いる。
10. 掲載料は1編につき6頁まで3,000円とする。原著、総説の増頁は1頁につき1,000円を加算する。カラー写真の使用については実費を加算し、1頁あたり5,000円とする。別刷代は20部まで無料、それ以上の部数については実費を徴収する。
11. 印刷頁の体裁はA4判、横2段とし、版面は横161mm、縦236mmである。カーニングや微調整を行うが、1段は25字52行程度で、1頁は2,600字程度である。表題、著者名、所属などは横1段とし、400字程度が充てられる。
12. 図（写真を含む）は、何番目の図か判別できること。表は表番号と表題を表上に記す。図・表の大きさはできるだけ印刷倍率に近い大きさで提出する。

リジエンドは(本文中の)別紙に記載する。採択後、図・表はフォントを埋め込んだPowerpointファイルとしての提出を求める。カラー写真で提出された図を白黒印刷することは可能である。
13. 文献は引用順に一連番号を付ける。文献欄には下記の例に従い、文献の著者名、発行年、論文の題、出典および頁を記載する。
 - 1) Shimada T, Kawazato H, Yasuda A, Ono N, Sueda K (2004) : Cytoarchitecture and intercalated disks of the working myocardium and the conduction system in the mammalian heart. Anat Rec 280A: 940-951
 - 2) 須磨幸蔵、島田宗洋、島田達生（1990）哺乳動物心臓の刺激伝導系、丸善、東京
 - 3) 島田達生（2002）：心筋の構造、最新心電学（外山淳治、春見建、有田眞 編）丸善、東京、pp25-50
 - 4) 文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課（2010）. スポーツ立国戦略.
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm
（最終閲覧日：2017年8月28日）
14. 本文中の引用箇所では右肩上に右片カッコにしてその番号をつける（全て半角文字を用いる）。
15. 投稿の際には、原則として上記原稿（図・表を含む）をe-mailに添付して送付する。写真のコピーは細部が明瞭に判明できるものでなければならない。
16. 掲載された論文等の著作権は大分県スポーツ学会に帰属する。
17. 著者校正は初稿のみとする。
18. 原稿の送付先
〒870-8658 大分市千代町 1-10-1
平松学園 大分医学技術専門学校
「スポーツおおいた」編集委員長 島田 達生
Tel : 097-535-0201
Fax : 097-537-8700
E-mail : tshimada@oita-u.ac.jp

一般社団法人大分県スポーツ学会 定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人大分県スポーツ学会と称し、英文ではOita Society of Sports Scienceとする。

(主たる事務所の所在地)

第2条 当法人の主たる事務所は、「大分県大分市明野北一丁目1番11号大分スポーツリハビリテーションセンター内」、従たる事務所は、「大分県大分市西鶴崎三丁目7番11号大分岡病院内」に置く。

(目的)

第3条 当法人は、スポーツに関する知識と技術の研鑽を積み、会員相互の情報交換を通じて、大分県における健全なる青少年の育成とスポーツの人材育成を図ると共に、県民の体力向上、健康増進、スポーツ文化の醸成に寄与することを目的とする。

2 当法人は、前項の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術集会の開催
- (2) 人材育成事業
- (3) スポーツ救護ナース及びスポーツ救護員の養成に関する事業
- (4) 会誌等の刊行
- (5) 当法人発展のためのネットワーク事業
- (6) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

(公告方法)

第4条 当法人の公告は、電子公告の方法により行う。ただし、電子公告の方法による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合には、官報に掲載してする。

(機関)

第5条 当法人の機関は、社員総会、理事及び理事会並びに監事とする。

第2章 会員及び社員

(会員及び社員の資格)

第6条 当法人は、次の二種とし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下『法人法』という。)上の社員(以下「社員」という。)とする。

- (1) 正会員 当法人の目的に賛同した個人
- (2) 賛助会員 当法人の事業を賛助するために入会した団体・機関

(入会)

第7条 当法人の会員となるには、当法人所定の入会申込書により入会の申し込みをし、理事会の承認を受けなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、年会費を支払わなければならない。ただし、正会員は年会費及び入会金を納入しなければならない。これをもって法人法第27条に規定する経費とみなす。

2 年会費及び入会金の額は、社員総会の決議により定めるものとする。

(会員名簿及び社員名簿)

第9条 当法人は、正社員、賛助会員の氏名及び住所を記載した「会員名簿」を作成して当法人の主たる事務所に備えておくものとし、当該名簿のうち正会員に関する記載をもって、法人法第31条に規定する社員名簿とする。

2 当法人の正会員、賛助会員に対する通知又は催告は、「会員名簿」に記載した住所又は会員が通知等をすべき場所として届け出た住所に宛てて行うものとする。

(退会)

第10条 当法人の会員は、次に掲げる事由により退社する。

- (1) 当法人所定の退会届書により退会届の申し出があったとき
- (2) 正当な理由なく3年間会費を滞納したとき
- (3) 本会の名誉を著しく傷つけたとき

2 会員の除名は、正当な事由があるときに限り、社員総会の決議によってすることができる。ただし、正会員の除名については法人法第30条及び第49条第2項第1号の定めるところによるものとする。

第3章 社員総会

(社員総会の決議事項)

第11条 社員総会は、法人法に規定する事項及び定款に定めた事項に限り、決議することができる。

(招集)

第12条 当法人の定時社員総会は、毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内に招集し、臨時社員総会は必要に応じて招集する。

2 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。理事長に事故若しくは支障があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い

副理事長がこれを招集する。

- 3 社員総会を招集するには、会日より2週間前までに、社員に対して招集通知を発するものとする。

(招集手続の省略)

第13条 社員総会は、社員全員の同意があるときは、招集手続を経ずに開催することができる。

(議長)

第14条 社員総会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い副理事長が議長となる。

(決議の方法)

第15条 社員総会の決議は、法令又は定款に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。

- 2 法人法第49条第2項に定める決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上の多数をもって行う。

(議決権)

第16条 社員は、各1個の議決権を有する。

(社員総会の決議の省略)

第17条 社員総会の決議の目的たる事項について、理事又は社員から提案があった場合において、その提案に社員の全員が書面により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(議決権の代理行使)

第18条 社員は、他の社員を代理人として、議決権を行使することができる。ただし、その場合は社員総会ごとに代理権を証する書面を提出しなければならない。

(社員総会議事録)

第19条 社員総会の議事録については、法令に従い議事録を作成し、議長が署名又は記名押印の上、10年間当法人の主たる事務所に備え置くものとする。

第4章 理事、監事及び代表理事

(理事の員数)

第20条 当法人の理事は、20名以内とする。

(監事の員数)

第21条 当法人の監事は、2名とする。

(理事及び監事の選任の方法)

第22条 当法人の理事及び監事の選任は、社員総会において総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。

(代表理事等)

第23条 当法人には、理事会の決議により、代表理事1名を選定し、代表理事は理事長とする。また、副理事長2名及び常任理事を複数名置くことができる。

2 理事長は、当法人を代表し、かつ、会務を総理する。

3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従いその職務を代行し、理事長が欠けたときはその職務を行う。

4 常任理事は、法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事とし、当法人の業務を分担執行する。

5 理事会はその決議により、副理事長及び常任理事の中から代表権を有する理事を選定することができる。

(理事及び監事の任期)

第24条 理事の任期は選任後2年以内、監事の任期は選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。

2 任期満了前に退任した理事又は監事の補欠として選任された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

3 増員により選任された理事の任期は、他の在任理事の任期の残存期間と同一とする。

第5章 理事会

(招集)

第25条 理事会は、理事長がこれを招集し、会日の1週間前までに各理事及び各監事に対して招集の通知を発するものとする。ただし、緊急の場合はこの期間を短縮することができる。

2 理事長に事故若しくは支障があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い副理事長がこれを招集する。

(招集手続の省略)

第26条 理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集手続を経ずに開催することができる。

(議長)

第27条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い副理事長がこれに代わる。

(理事会の決議)

第28条 理事会の決議は、議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第29条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面により同意の意思表示をしたときは、監事が当該提案に異議を述べた場合を除き、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(理事会議事録)

第30条 理事会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、出席した理事のうち代表権を有する理事及び監事が署名又は記名押印し、10年間主たる事務所に備え置くものとする。

第6章 委員会及び顧問

(委員会)

第31条 当法人は、事業運営の円滑化、効率化を図るため、理事会の決議により委員会を設置することができる。

2 委員会の委員は、会員及び学識経験者のうちから理事会が選定する。

3 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(顧問)

第32条 当法人は、理事会の決議により顧問を若干名置くことができる。

2 顧問に関し必要な事項については、理事会の承認を得て理事長が定める。

(顧問の職務)

第33条 顧問は、専門的知見に基づき理事長の諮問に応え意見を述べることができる。

第7章 計 算

(事業年度)

第34条 当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(計算書類等の定時社員総会への提出等)

第35条 理事長は、毎事業年度、法人法第124条第1項の監査を受け、かつ同条第3項の理事会の承認を受けた計算書類（貸借対照表及び損益計算書）及び事業報告書を定時社員総会に報告しなければならない。

(計算書類等の備え置き)

第36条 当法人は、各事業年度に係る貸借対照表、損益計算書及び事業報告書並びにこれらの附属明細書（監事の監事報告書を含む。）を、定時社員総会の日の2週間前の日から5年間、主たる事務所に

備え置くものとする。

(剰余金の不配当)

第37条 当法人は、剰余金の配当をしない。

第8章 基 金

(基金の拠出)

第38条 当法人は、基金を引き受ける者を募集することができる。

(基金の募集)

第39条 基金の募集及び割当て、払込み等の手続きに関しては、理事会の決議及び理事会が制定する「基金取扱規程」による。

(基金拠出者の権利)

第40条 当法人は、拠出された基金については、基金拠出者との合意により定めた期日が到来するまで返還しない。

第41条 基金の返還は、定時社員総会の決議に基づき、法人法第141条第2項に定める額の範囲内で、「基金取扱規程」に従い行うものとする。

(代替基金の積立)

第42条 基金の返還を行うときは、返還する基金の額に相当する金額を代替基金として積み立てなければならない。

第9章 解散及び清算

(解散の事由)

第43条 当法人は、次に掲げる事由によって解散するものとする。

- (1) 社員総会の決議
- (2) 合併により当法人が消滅する場合
- (3) 破産手続開始の決定
- (4) 裁判所の解散命令

(残余財産の帰属)

第44条 当法人の残余財産は、社員総会の決議により当法人の類似の事業を目的とする公益社団法人、特定非営利活動法人又は国若しくは地方公共団体等が運営する公益目的の基金等に寄付するものとする。

第10章 附 則

- 1 この定款は、平成25年3月13日から施行する
- 2 この定款は、平成26年6月7日から施行する

表紙解説

大分県出身者のオリンピックメダリスト

だ て じ い ち ろ う
伊達 治一郎

(1952年1月6日～2018年2月20日)

1976年7月にカナダのモントリオールで開催された第21回オリンピック競技大会のレスリング金メダルに輝いた佐伯市出身の伊達治一郎氏を紹介します。当時、私は31歳。久留米大学医学部分子解剖学講座に勤務していました。未だに私の脳裏深くのこっているのは、白い妖精といわれたルーマニアのナディア・コマネチの体操演技でした。計7回の10点満点を記録し、大会の主役となっていた。モントリオール五輪で、日本は9個の金メダルを獲得している。体操男子団体総合、女子バレーボール、柔道では無差別級の上村春樹、中量級の園田勇、軽量級の二宮和弘が金メダルに輝いた。さらに、レスリングではフリースタイル52kg級の高田裕司、同74kg級の伊達治一郎が優勝した。体操男子、柔道、レスリング男子は世界選手権でも優勝していたので、当然期待されていた種目であった。近年、レスリング女子の活躍が華々しいが、以前は男子が強かった。

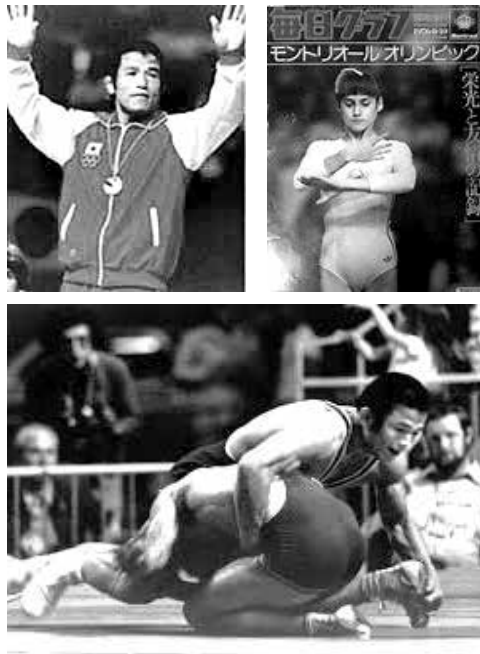
伊達治一郎氏は、大分県立佐伯農業高校時代、同じ1952年生まれで青森・八戸電波工業の吉田栄勝さん（吉田沙保里の父、故人）らと「高校三羽ガラス」と呼ばれていたという。彼は、国士舘大学に進み、さらに腕を磨き、強さを増して、20歳でミュンヘン五輪グレコローマン74kg級3回戦敗退。その後フリースタイルに専念。とかく精神論が強調されがちなスポーツ界にあって、伊達は、「体力が劣っては、根性ではカバーできない」が持論。腹筋、背筋運動、ブリッジなどで体を鍛えた上で、スピードとタイミングを研ぎ澄ます練習をした。結果的にモントリオール五輪フリースタイル74kg級金メダル。彼の考えと実行は、レスリングのみならず他の種目にも大きな波紋を投げかけた。彼は国士舘大学卒業後国士舘大学教員として、モントリオール五輪に出場し、4年後の1980年モスクワ五輪幻の代表となっている。引退後は五輪代表のコーチを務めている。

2018年2月20日、伊達氏は若くして66歳で他界した。多くの人が急逝を惜しんでいる。ご冥福をお祈りいたします。

住居は東京都調布市内に構えていた。彼が高校時代に活躍した大分県立佐伯農業高校は、今は佐伯豊南高等学校と名をかせ、レスリングのみならず有名なプロ野球選手広瀬幸、陸上宗兄弟らが輩出している。

平成30年6月2日（土）に開催された高校総体レスリング団体で佐伯市にある日本文理大学付属高校が佐伯豊南高校を破り優勝している。故伊達治一郎氏は、天国から佐伯レスリングの伝統が引き継がれていることを喜び、若者が世界に羽ばたくことを切に願っていることでしょう。

（記：大分大学名誉教授 島田 達生）



編集後記

大分県スポーツ学会の学会誌「スポーツおおいた」の創刊号が2017年12月吉日に、2号が2018年6月に発刊された。そして、年2回発行の学会誌3号が、会員皆さんの協力と編集委員の尽力によって2018年12月発刊の準備が終了し、印刷にはいった。ここまでの順調な滑り出しは大変喜ばしいことであり、多くのスポーツ学術内容や情報を会員や会員以外の方々に伝えることができていると確信しています。

表紙のイラスト絵は、大分県で3番目にオリンピックメダルをとった種目のレスリングです。佐伯市出身の伊達治一郎氏が、1976年7月にカナダのモントリオールで開催された第21回オリンピックで金メダルを取った。詳しい解説は学会誌章末に記載しています。ぜひ一読ください。巻頭言を本学会の創始者であり、会の発展に努めた前理事長の森照明氏にお願いしました。学会誌3号の総説を会の発足当時から活躍されている西別府病院スポーツ医学センタースポーツ歯科保科早苗先生に執筆していただいた。歯の健康はスポーツ選手のみならず愛好家にとって極めて重要なことである。さらに、第8回フォーラム発表者の要旨を掲載した。テーマは「社会の中のスポーツ～人々はスポーツをどう眺め、何に期待しているのか～」、オーガナイザーは大分大学谷口勇一教授でした。

学会誌3号の編集にあたり、もっとも喜ばしく思ったことは、原著論文が投稿されたことです。これを契機に、若手がスポーツ研究にも目を向け、些細なことでもいいので新しい発見を見出し、原著論文の作成に挑戦することを期待しています。編集委員、学会事務局、中央印刷の方々が一丸となって3号の発刊に努めました。心より感謝の意を表します。学会誌の運営に今後ともご指導、ご鞭撻、ご支援をよろしくお願いします。

(島田 達生)

スポーツおおいた

第3号

発行：一般社団法人 大分県スポーツ学会

理事長 稲垣 敦 (大分県立看護科学大学 教授)

発行日：2018年12月16日

事務局：大分スポーツリハビリテーションセンター (担当：石田、佐藤、牧)

〒870-0165 大分市明野北1-1-11

TEL 097-574-5132 FAX 097-574-5133

社会医療法人 敬和会 大分岡病院 (担当：小副川、栗秋、佐藤)

〒870-0192 大分市西鶴崎3-7-11

TEL 097-522-3131 (代) TEL/FAX 097-522-3576

編集委員長：島田 達生 (大分医学技術専門学校 校長・大分大学 名誉教授)

編集委員：平川 史子 (別府大学 食物栄養科学部 教授)

天田 浩司 (独立行政法人国立病院機構 西別府病院 循環器内科部長)

保科 早苗 (独立行政法人国立病院機構 西別府病院 スポーツ医学センター 歯科部長)

谷口 勇一 (大分大学 教育学部 教授)

佐藤 浩二 (社会医療法人敬和会 大分岡病院 法人統括リハビリテーション部長)

河村 聡志 (大分市医師会立アルメイダ病院 薬剤部 / 公益社団法人 大分県薬剤師会 アンチ・ドーピング委員会 委員)

石田 直也 (医療法人 大場整形外科)

ホームページ：<http://oitakenspo.jp/>

印刷：有限会社中央印刷

〒870-0025 大分市顕徳町2丁目2-38

TEL 097-532-3805 FAX 097-533-7779

